

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科等連係課程実施基本組織の設置（研究科の設置）								
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン ナガサキダイガク 国立大学法人 長崎大学								
フリガナ大学の名称	ナガサキダイガクダイガクイン 長崎大学大学院 (Graduate school of Nagasaki University)								
大学本部の位置	長崎県長崎市文教町1番14号								
大学の目的	長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献するとの理念に基づき、実践的問題解決能力と政策立案能力を有し国際的問題及び地域の諸課題を解決しうる高度専門職業人並びに豊かな創造的能力を有し先導的知を創出しうる研究者を養成し、もって広く人類に貢献することを目的とする。								
新設学部等の目的	学際的な教育・研究を通して、人間社会と地球・生態系の共存を主要な課題とするプラネタリーヘルスの実現に貢献できる人材の養成を目的とする。								
新設学部の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環 [Interfaculty Initiative in Planetary Health]	3	5	—	15	博士（公衆衛生学） 【Doctor of Public Health】	令和4年10月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	研究科等連係課程実施基本組織 学位の分野： 保健衛生学関係 （看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）
	連係協力研究科（Ⅰ） 多文化社会学研究科 [Graduate School of Global Humanities and Social Sciences] 多文化社会学専攻 [Department of Global Humanities and Social Sciences]	3	3	—	9	博士（学術） 【Doctor of Philosophy】	令和2年4月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号	学位の分野： 文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係
	多文化社会学専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0				
	連係協力研究科（Ⅱ） 経済学研究科 [Graduate School of Economics] 経営意思決定専攻 [Department of Managerial Decision Making]	3	3	—	9	博士（経営学） 【Doctor of Business Administration】	平成16年4月 第1年次	長崎県長崎市片淵4丁目2番1号	学位の分野： 経済学関係
	経営意思決定専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0				
	連係協力研究科（Ⅲ） 工学研究科 [Graduate School of Engineering] 生産システム工学専攻 [Department of Science and Technology]	3	15	—	45	博士（工学） 【Doctor of Philosophy in Engineering】	平成23年4月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号	学位の分野： 工学関係
	生産システム工学専攻からプラネタリーヘルス学環の内数とする定員		0	—	0				

	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	備考
		年	人	年次人	人	年 月 年次			
新設	関係協力研究科 (IV) 水産・環境科学総合研究科 [Graduate School of Fisheries and Environmental Sciences] 環境海洋資源学専攻 [Department of Environment and Fisheries Resources] 環境海洋資源学専攻から プラネタリーヘルス学環の内数とする定員	3	12	—	36	博士 (水産学) 【Doctor of Philosophy in Fisheries Science】 博士 (環境科学) 【Doctor of Philosophy in Environmental Science】 博士 (学術) 【Doctor of Philosophy】	平成23年4月 第1年次	長崎県長崎市文教町1番14号	学位の分野： 農学関係 文学関係 法学関係 経済学関係
	関係協力研究科 (V) 医歯薬学総合研究科 [Graduate School of Biomedical Sciences] 医療科学専攻 [Medical and Dental Sciences] 医療科学専攻から プラネタリーヘルス学環の内数とする定員	4	60	—	240	博士 (学術) 【Doctor of Philosophy】 博士 (医学) 【Doctor of Philosophy in Medical Science】 博士 (歯学) 【Doctor of Philosophy in Dental Science】 博士 (薬学) 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 医学関係 歯学関係 薬学関係
学部	新興感染症病態制御学系専攻 [Infection Research] 新興感染症病態制御学系専攻から プラネタリーヘルス学環の内数とする定員	4	20	—	80	博士 (学術) 【Doctor of Philosophy】 博士 (医学) 【Doctor of Philosophy in Medical Science】 博士 (歯学) 【Doctor of Philosophy in Dental Science】 博士 (薬学) 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 医学関係 歯学関係 薬学関係
	放射線医療科学専攻 [Life Sciences and Radiation Research] 放射線医療科学専攻から プラネタリーヘルス学環の内数とする定員	4	5	—	20	博士 (学術) 【Doctor of Philosophy】 博士 (医学) 【Doctor of Philosophy in Medical Science】 博士 (歯学) 【Doctor of Philosophy in Dental Science】 博士 (薬学) 【Doctor of Philosophy in Pharmaceutical Science】	平成14年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 医学関係 歯学関係 薬学関係
概要	先進予防医学共同専攻 [Division of Advanced Preventive Medical Sciences] 先進予防医学共同専攻から プラネタリーヘルス学環の内数とする定員	4	10	—	40	博士 (医学) 【Doctor of Medicine】	平成28年4月 第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 医学関係

新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	備考
	年	人	年次人	人				
新設学部の概要	3	10	—	30	博士（グローバルヘルス） 【Doctor of Philosophy】	平成30年10月第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）
	3	5	—	15	博士（グローバルヘルス） 【Doctor of Philosophy】	平成30年10月第1年次	長崎県長崎市坂本1丁目12番4号	学位の分野： 保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）
	計	0	—	0				
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	水産・環境科学総合研究科 海洋フィールド生命科学専攻（博士課程（5年一貫制））（廃止）（△5） ※令和4年4月 学生募集停止 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻（博士後期課程）〔定員増〕（5）（令和4年10月）							
教育課程	新設学部等の名称		開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
	講義	演習	実験・実習	計				
	ブラネタリーヘルス学環	8 科目	1 科目	1 科目	10 科目	15 単位		
教員組織の概要	学部等の名称			専任教員等				兼任等
	教授	准教授	講師	助教	計	助手	兼任等	
新設	研究科等連係課程実施基本組織 ブラネタリーヘルス学環							
	連係協力研究科（Ⅰ） 多文化社会学研究科 多文化社会学専攻							
	連係協力研究科（Ⅱ） 経済学研究科 経営意思決定専攻							
	連係協力研究科（Ⅲ） 工学研究科 生産システム工学専攻							
	連係協力研究科（Ⅳ） 水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻	<4> 【20】 (24)	<2> 【12】 (14)	<0> 【0】 (0)	<1> 【2】 (3)	<7> 【34】 (41)	<0> 【0】 (0)	<0> 【8】 (8)
	連係協力研究科（Ⅴ） 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 新興感染症病態制御学系専攻 放射線医療科学専攻 先進予防医学共同専攻							
	連係協力研究科（Ⅵ） 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学 大学院国際連携グローバルヘルス専攻							
計		24 (24)	14 (14)	0 (0)	3 (3)	41 (41)	0 (0)	8 (8)

(注)
<>内は、研究科等連係課程実施基本組織のみに従事する専任教員数。
【 】内は、研究科等連係課程実施基本組織と連係協力研究科等を兼ねる専任教員数。

教員	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼 任 等	備 考		
			教授	准教授	講師	助教	計			助手	
組	既	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	16 【2】 (16)	20 【4】 (14)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	36 【6】 (30)	0 【0】 (0)	4 【0】 (4)	【注】内は、研究科等連係課程実施基本組織と連係協力研究科等を兼ねる専任教員数。 【連携外国大学と調整を行う専任教員の状況等】 人数：1名 職名：助教 所属：熱帯医学研究所	
		経済学研究科 経営意思決定専攻	11 【2】 (12)	16 【1】 (13)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	27 【3】 (25)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)		
	設	工学研究科 生産システム工学専攻	28 【1】 (28)	41 【3】 (41)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)	69 【4】 (69)	0 【0】 (0)	16 【0】 (16)		
		水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻	33 【1】 (42)	42 【1】 (36)	0 【0】 (0)	6 【0】 (3)	81 【2】 (81)	0 【0】 (0)	6 【0】 (6)		
	概	分	医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	77 【1】 (77)	52 【0】 (52)	12 【0】 (12)	15 【0】 (15)	156 【1】 (156)	0 【0】 (0)		112 【0】 (112)
			新興感染症病態制御学系専攻	25 【3】 (25)	8 【0】 (8)	1 【0】 (1)	0 【0】 (0)	34 【3】 (34)	0 【0】 (0)		222 【0】 (222)
		放射線医療科学専攻	6 【1】 (6)	2 【0】 (2)	0 【0】 (0)	2 【0】 (2)	10 【1】 (10)	0 【0】 (0)	213 【0】 (213)		
		先進予防医学共同専攻	29 【2】 (29)	15 【0】 (15)	5 【0】 (5)	13 【0】 (13)	62 【2】 (62)	0 【0】 (0)	2 【0】 (12)		
		熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学 大学院国際連携グローバルヘルス専攻	12 【7】 (12)	9 【3】 (9)	0 【0】 (0)	10 【2】 (10)	31 【12】 (31)	0 【0】 (0)	0 【0】 (0)		
	計		237 (247)	205 (190)	18 (18)	46 (43)	506 (498)	0 (0)	575 (575)		
合 計		24 (24)	14 (14)	0 (0)	3 (3)	41 (41)	0 (0)	8 (8)			
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計				
	事 務 職 員		470 (470)		657 (657)		1,127 (1,127)		人		
	技 術 職 員		103 (103)		65 (65)		168 (168)		人		
	図 書 館 専 門 職 員		7 (7)		0 (0)		7 (7)		人		
	そ の 他 の 職 員		1,393 (1,393)		723 (723)		2,116 (2,116)		人		
	計		1,973 (1,973)		1,445 (1,445)		3,418 (3,418)		人		
校 地 等	区 分	専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計				
	校 舎 敷 地	272,093 m ²	0 m ²		0 m ²		272,093 m ²		借用面積229m ² 借用面積3,190m ²		
	運 動 場 用 地	110,819 m ²	0 m ²		0 m ²		110,819 m ²				
	小 計	382,912 m ²	0 m ²		0 m ²		382,912 m ²				
	そ の 他	279,977 m ²	0 m ²		0 m ²		279,977 m ²				
合 計	662,889 m ²	0 m ²		0 m ²		662,889 m ²					
校 舎		専 用	共 用		共用する他の学校等の専用		計				
		187,993 m ² (187,993 m ²)	0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		187,993 m ² (187,993 m ²)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設					
	110 室	223 室	482 室	20 室 (補助職員3人)		5 室 (補助職員1人)		大学全体			
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数						
		プラネタリーヘルス学環			41 室						

図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	ブラネタリーヘルス学環に係る数量は特定不能なため、大学全体の数
		冊	冊	種	種					
	ブラネタリーヘルス学環	1,033,000 [296,000] (1,018,000 [294,000])	25,000 [7,300] (24,900 [7,300])	27,000 [25,300] (24,000 [22,600])	6,490 (5,900)	15,301 (15,301)	78 78			
	計	1,033,000 [296,000] (1,018,000 [294,000])	25,000 [7,300] (24,900 [7,300])	27,000 [25,300] (24,000 [22,600])	6,490 (5,900)	15,301 (15,301)	78 78			
図書館		面積 10,758 m ²		閲覧座席数 1,359			取納可能冊数 959,527			大学全体
体育館		面積 12,541 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要 弓道場、テニスコート、ハンドボールコート、プール等						
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による	
		教員1人当り研究費等								
		共同研究費等								
		図書購入費								
	設備購入費									
学生1人当り納付金	第1年次 千円	第2年次 千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要										
既設大学の状況	大学の名称 長崎大学									
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員 年次人	取容定員	学位又は称号	定員超過率 倍	開設年度	所在地	
	【学部】	年	人	年次人	人					
	多文化社会学部 多文化社会学科	4	100	—	400	学士(多文化社会学)	1.03	平成26年度	長崎市文教町1番14号	
	教育学部 学校教育教員養成課程	4	180	—	840	学士(教育学)	1.00	平成10年度	長崎市文教町1番14号	令和2年度入学定員減(△60人)
	経済学部 総合経済学科 昼間コース	4	265	3年次 10	1,080	学士(経済学)	1.02	平成9年度	長崎市片淵4丁目2番1号	
	夜間主コース	4	60	5	250					
	医学部 医学科	6	120	2年次 5	743	学士(医学)	1.00	昭和24年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	保健学科	4	106	3年次 10	444	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成13年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
	歯学部 歯学科	6	50	—	300	学士(歯学)	1.00	昭和54年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
	薬学部 薬学科	6	40	—	240	学士(薬学)	1.03	平成18年度	長崎市文教町1番14号	
	薬科学科	4	40	—	160	学士(薬科学)	1.04	昭和61年度	長崎市文教町1番14号	
	情報データ科学部 情報データ科学科	4	110	—	330	学士(情報データ科学)	1.02	令和2年度	長崎市文教町1番14号	令和2年度設置
	工学部 工学科	4	330	—	1,420	学士(工学)	1.02	平成23年度	長崎市文教町1番14号	令和2年度入学定員減(△50人)
	環境科学部 環境科学科	4	130	3年次 5	530	学士(環境科学)	1.02	平成9年度	長崎市文教町1番14号	
	水産学部 水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.03	昭和48年度	長崎市文教町1番14号	

	学 部 等 の 名 称	修業	入学	編入	収容	学位又	定 員	開設	所 在 地	備 考
		年限	定員	学 員	定員	は称号	超過率	年度		
		年	人	年次	人		倍			
既	【 研 究 科 】									
	多文化社会学研究科 (博士前期課程) 多文化社会学専攻	2	10	—	20	修士(学術)	1.00	平成30年度	長崎市文教町1番14号	
設	(博士後期課程) 多文化社会学専攻	3	3	—	6	博士(学術)	1.16	令和2年度	長崎市文教町1番14号	令和2年度設置
	教育学研究科 (専門職学位課程) 教職実践専攻	2	28	—	56	教職修士(専門職)	1.12	平成20年度	長崎市文教町1番14号	
大	経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻	2	15	—	30	修士(経済学) 修士(経営学)	0.73	平成7年度	長崎市片淵4丁目2番1号	
	(博士後期課程) 経営意志決定専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	0.77	平成16年度	長崎市片淵4丁目2番1号	
学	工学研究科 (博士前期課程) 総合工学専攻	2	220	—	440	修士(工学)	0.93	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	(博士後期課程) 生産システム工学専攻	3	15	—	45	博士(工学)	0.97	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	(5年一貫制博士課程) グリーンシステム創成 科学専攻	5	5	—	25	博士(工学)	0.52	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
等	水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程) 水産学専攻	2	35	—	70	修士(学術) 修士(水産学)	0.85	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	環境科学専攻 (博士後期課程) 環境海洋資源学専攻	2	25	—	50	修士(学術) 修士(環境科学)	1.00	平成27年度	長崎市文教町1番14号	
の	(5年一貫制博士課程) 海洋フィールド生命科学 専攻	3	12	—	36	博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学)	0.91	平成23年度	長崎市文教町1番14号	
	5	5	—	25	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	0.12	平成23年度	長崎市文教町1番14号		
状	医歯薬学総合研究科 (修士課程) 保健学専攻	2	30	—	50	修士(看護学) 修士(理学療法 学) 修士(作業療法 学)	1.10	平成18年度	長崎市坂本1丁目7番1号	令和3年度入学定員 増(10人)
	災害・被ばく医療科 学共同専攻 (博士課程) 医療科学専攻	2	10	—	20	修士(医科学) 修士(看護学)	0.95	平成28年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
況	4	60	—	240	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.16	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号		
	新興感染症病態制御 学系専攻	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	0.77	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	

既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	放射線医療科学専攻	4	5	—	20	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.25	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	先進予防医学共同専攻 (博士前期課程)	4	10	—	40	博士(医学)	1.17	平成28年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	生命薬科学専攻 (博士後期課程)	2	36	—	72	修士(薬科学)	0.88	平成24年度	長崎市文教町1番14号	
	生命薬科学専攻	3	10	—	30	博士(学術) 博士(薬科学)	0.76	平成24年度	長崎市文教町1番14号	
	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 (博士前期課程)	2	37	—	62	修士(熱帯医学) 修士(公衆衛生学) 修士(医科学)	0.98	平成27年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	グローバルヘルス専攻 (博士後期課程)									
グローバルヘルス専攻	3	5	—	15	博士(グローバルヘルス)	1.00	平成30年度	長崎市坂本1丁目12番4号		
長崎大学—ロンドン大学 衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻	3	5	—	15	博士(グローバルヘルス)	1.00	平成30年度	長崎市坂本1丁目12番4号		
附属施設の概要	<p>(附置研究所)</p> <p>○熱帯医学研究所 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：昭和24年5月(昭和42年6月 風土病研究所から改称) 規模等：土地 3,743㎡ 建物 10,031㎡ 目的：熱帯医学に関する学理及びその応用を研究する。</p> <p>○原爆後障害医療研究所 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成25年4月 規模等：土地 1,986㎡ 建物 4,845㎡ 目的：放射線の人体への影響を国内外のヒパクシャを対象として研究により究明して、人類の安全と安心に寄与する放射線健康リスク評価・管理学を実践し、全人的被ばく医療学を推進するとともに、国際的な放射線被ばく影響の実態調査、ヒパクシャの試料・資料の収集及びデータベースの構築を行う。</p> <p>(附属病院)</p> <p>○長崎大学病院 所在地：長崎市坂本1丁目7番1号 設置年月：昭和24年5月(平成21年4月 医学部・歯学部附属病院を改組) 規模等：土地 17,812㎡ 建物 82,239㎡ 目的：患者の診療を通じて医歯薬学関連の教育及び研究を行う。</p> <p>(附属学校)</p> <p>目的： (1)教育基本法及び学校教育法に定める教育又は保育を行う。 (2)教育学部における児童若しくは生徒の教育又は幼児の保育に関する研究に協力し、教育学部の計画に従い、学生の教育実習の実施にあたる。 (3)教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行う。</p> <p>○教育学部附属幼稚園 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地 1,364㎡ 建物 1,148㎡</p> <p>○教育学部附属小学校 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地 4,202㎡ 建物 7,240㎡</p> <p>○教育学部附属中学校 所在地：長崎市文教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地 3,711㎡ 建物 7,663㎡</p> <p>○教育学部附属特別支援学校 所在地：長崎市柳谷町42番1号 設置年月：昭和46年4月 規模等：土地 2,443㎡ 建物 3,518㎡</p>									

<p>附属施設の概要</p>	<p>(学部等の附属施設)</p> <p>○水産学部附属練習船鶴洋丸 設置年月：昭和50年6月（現船：平成16年12月） 規模等：アルミニウム合金船 155トン 最大搭載人員 36名 目的：航海・漁労実習，海洋環境観測，海洋生物資源調査</p> <p>○水産学部附属練習船長崎丸 設置年月：昭和27年3月（現船：平成30年3月） 規模等：鋼船 1,131トン 最大搭載人員 70名 目的：トロール漁業実習，海洋学実習，航海運用実習</p> <p>○歯薬学総合研究科附属先進予防医学研究センター 所在地：長崎県五島市三尾野1-7-1 設置年月：平成29年6月 規模等：土地 4,826㎡ 建物 39㎡ 目的：長崎大学歯薬学総合研究科における先進予防医学に関する国内外の研究機関との共同研究の推進に寄与する。</p> <p>○歯薬学総合研究科附属薬用植物園 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：昭和47年5月（平成15年4月 薬学部附属施設から歯薬学総合研究科附属施設へ移行） 規模等：土地 261㎡ 建物 445㎡ 目的：園内に薬用植物を栽培し，もって学術研究及び教育に資する。</p> <p>○熱帯医学研究所附属アジア・アフリカ感染症研究施設 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成20年4月（熱帯感染症研究センターを改組） 規模等：土地 2,233㎡ 建物 105㎡ 目的：アジアやアフリカにおける熱帯病・新興再興感染症の発生・拡大に関する現地長期調査及び複合要因の解析並びに予防制圧に資する研究及び教育を行うことにより，当該分野の学術研究の進展及び人材育成に寄与する。</p> <p>○熱帯医学研究所附属熱帯医学ミュージアム 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成20年4月（熱帯感染症研究センターを改組） 規模等：土地 555㎡ 建物 382㎡ 目的：熱帯医学に関する資料・情報を収集，整理，保存，解析及び提供するとともに，公衆への供覧等を行うことにより，熱帯医学に対する社会の理解を深め，学術研究の進展に寄与する。</p> <p>○原爆後障害医療研究所附属放射線・環境健康影響共同研究推進センター 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成26年9月 規模等：土地 1,200㎡ 建物 51㎡ 目的：長崎大学原爆後障害医療研究所における放射線・環境健康影響研究の国内外との共同研究の推進に寄与する。</p> <p>(学内共同教育研究施設等)</p> <p>○保健センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：昭和41年4月（令和3年4月 保健・医療推進センターを改組） 規模等：土地 494㎡ 建物 540㎡ 目的：長崎大学の学生及び職員健康及び安全を守り，予防に努めるとともに，保健・医療分野での医療教育・研究，本学の地域連携及び地域貢献を県及び自治体と連携し，推進する。</p> <p>○教育開発推進機構 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成14年4月（令和2年7月 大学教育イノベーションセンター及び地域教育総合支援センターの改組） 規模等：土地 4,012㎡ 建物 673㎡ 目的：長崎大学の教育改善及び入学者選抜に係る支援並びに長崎県内における学校教育，社会教育等の地域教育向上に資するための支援を推進する。</p> <p>○ICT基盤センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成16年12月 規模等：土地 755㎡ 建物 1,137㎡ 目的：ICTを活用した教育研究環境を提供するため，情報政策の企画立案・実施，高度情報化技術に基づく情報基盤の整備，教育の情報化及び情報教育の推進並びに知識情報基盤の整備及び活用支援を行う。</p> <p>○言語教育研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成24年4月 規模等：土地 910㎡ 建物 400㎡ 目的：本学における外国語教育に関する教育及び研究を推進するとともに，外国語教育の実施に関する企画運営を行う。</p>

<p>附属施設の概要</p>	<p>○キャリアセンター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：令和元年4月 規模等：土地 4,624㎡ 建物 256㎡ 目的：長崎大学のキャリア教育・キャリア形成支援の企画、実施及び調査研究並びに就職支援全般に係る業務を学内関係部局及び社会・地域との連携を図りながら実施することにより、学生の主体的なキャリア形成の醸成に全学的に取り組む。</p> <p>○障がい学生支援室 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成25年8月 規模等：土地 436㎡ 建物 57㎡ 目的：学内の関係部局等と連携を図りながら障がい学生への全学的な支援体制を強化し、もって障がい学生の円滑な修学に寄与する。</p> <p>○研究開発推進機構 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成30年7月 規模等：土地 8,821㎡ 建物 2,575㎡ 目的：全学の学術研究及び産学官連携を推進し、もって長崎大学の教育研究の充実と社会貢献に資する。</p> <p>○海洋未来イノベーション機構 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成28年4月 規模等：土地 1,325㎡ 建物 1,609㎡ 目的：海洋エネルギー開発及び海洋環境保全・回復並びに海洋生物資源の持続的利用を同時に可能とするための融合研究プラットフォームを構築し、研究成果を社会に還元することにより、長崎県更には我が国の海洋未来産業の発展に寄与する。</p> <p>○先端生命科学研究支援センター 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成15年4月（アイソトープ総合センター、遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設を統合再編） 規模等：土地 2,909㎡ 建物 10,681㎡ 目的：放射性同位元素等、動物資源及びゲノム情報・遺伝子を用いる教育研究並びに生体分子解析及び細胞機能解析に関する教育研究にその施設等を供するとともに、本学における</p> <p>○核兵器廃絶研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成24年4月 規模等：土地 150㎡ 建物 230㎡ 目的：ヒロシマ・ナガサキを現在の世界の潮流の中で新たに位置づけ、学問的調査・分析を通して核兵器廃絶に向けた情報や提言を様々な角度から世界に発信するため、長崎市、長崎県等と連携を図りながら核兵器廃絶に係る教育研究活動を行うことにより、もって本学の教育研究の進展に資する。</p> <p>○先端創薬イノベーションセンター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成24年1月 規模等：土地 2,532㎡ 建物 335㎡ 目的：基礎創薬技術を効率的に開発研究に結び付けることにより、迅速な製品開発を推進すること及び長崎大学病院臨床研究センターと協力し、臨床研究、早期臨床試験等を着実に実施することにより、臨床創薬段階にある研究テーマを迅速に治験段階へステージアップする。</p> <p>○環境保全センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成30年7月 規模等：土地 1,992㎡ 建物 1,332㎡ 目的：本学の研究、教育等により生じた排水、重金属等含有廃液、有機溶媒等廃液、排ガス等による公害の発生を防止する。</p> <p>○グローバル連携機構 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成30年7月 規模等：土地 633㎡ 建物 157㎡ 目的：長崎大学の特色を生かしたグローバルな教育研究活動を展開するとともに世界的に活躍し得る人材の育成を推進することにより、世界の平和と人類の福祉に貢献する大学の創出に資する。</p> <p>○留学生教育・支援センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成30年7月 規模等：土地 633㎡ 建物 157㎡ 目的：外国人留学生並びに学部及び大学院への入学前における日本語等に関する予備教育を受ける者並びに外国の大学等に留学する日本人学生に対し、必要な教育及び指導助言を行うことにより、本学における外国人留学生の受入れ及び学生の海外留学の推進を図る。</p> <p>○子どもの心の医療・教育センター 所在地：長崎市坂本1丁目7番1号 設置年月：平成28年10月 規模等：土地 1,027㎡ 建物 36㎡ 目的：発達障害児等への医療的支援を踏まえた支援ができる高度な知識及び技術を有する人材を育成すること並びに医療、教育、療育、保健、福祉、就労等を行う関係機関との連携を強化してながさき子どもの心の支援ネットワークを構築する。</p>	
----------------	---	--

<p>附属施設の概要</p>	<p>○福島未来創造支援研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成26年4月 規模等：土地 702㎡ 建物 90㎡ 目的：東日本大震災により甚大な被害を受けた福島県に対する健康、医療、福祉、教育等の包括的かつ具体的な支援及び協力を行うことにより、福島県の未来創造に資する。</p> <p>○教員免許状更新講習支援室 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成21年4月 規模等：土地 1,860㎡ 建物 45㎡ 目的：教育職員免許法第9条の3に規定する免許状更新講習の企画及び円滑な実施を行う。</p>	
----------------	--	--

補足資料（国立大学法人長崎大学 組織の移行表）

令和3年度	入学 定員	編入 学	収容 定員	令和4年度	入学 定員	編入 学	収容 定員	変更の事由
長崎大学				長崎大学				
多文化社会学部				多文化社会学部				
多文化社会学科	100	—	400	多文化社会学科	100	—	400	
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	180	—	720	学校教育教員養成課程	180	—	720	
経済学部		3年次		経済学部		3年次		
総合経済学科(昼間コース)	265	10	1,330	総合経済学科(昼間コース)	265	10	1,330	
総合経済学科(夜間主コース)	60	5		総合経済学科(夜間主コース)	60	5		
医学部				医学部				
医学科	120	2年次 5	745	医学科	120	2年次 5	745	
保健学科	106	3年次 10	444	保健学科	106	3年次 10	444	
歯学部				歯学部				
歯学科	50	—	300	歯学科	50	—	300	
薬学部				薬学部				
薬学科	40	—	240	薬学科	40	—	240	
薬科学科	40	—	160	薬科学科	40	—	160	
情報データ科学部				情報データ科学部				
情報データ科学科	110	—	440	情報データ科学科	110	—	440	
工学部				工学部				
工学科	330	—	1,320	工学科	330	—	1,320	
環境科学部		3年次		環境科学部		3年次		
環境科学科	130	5	530	環境科学科	130	5	530	
水産学部				水産学部				
水産学科	110	—	440	水産学科	110	—	440	
計	1,641	2年次 5 3年次 30	7,069	計	1,641	2年次 5 3年次 30	7,069	
長崎大学大学院				長崎大学大学院				
多文化社会学研究科				多文化社会学研究科				
多文化社会学専攻(M)	10		20	多文化社会学専攻(M)	10		20	
多文化社会学専攻(D)	3		9	多文化社会学専攻(D)	3		9	
教育学研究科				教育学研究科				
教職実践専攻(P)	28		56	教職実践専攻(P)	28		56	
経済学研究科				経済学研究科				
経済経営政策専攻(M)	15		30	経済経営政策専攻(M)	15		30	
経営意思決定専攻(D)	3		9	経営意思決定専攻(D)	3		9	
工学研究科				工学研究科				
総合工学専攻(M)	220		440	総合工学専攻(M)	220		440	
生産システム工学専攻(D)	15		45	生産システム工学専攻(D)	15		45	
グリーンシステム創成科学専攻(D)	5		25	グリーンシステム創成科学専攻(D)	5		25	
水産・環境科学総合研究科				水産・環境科学総合研究科				
水産学専攻(M)	35		70	水産学専攻(M)	35		70	
環境科学専攻(M)	25		50	環境科学専攻(M)	25		50	
環境海洋資源学専攻(D)	12		36	環境海洋資源学専攻(D)	12		36	
海洋フィールド生命科学専攻(D)	5		25	海洋フィールド生命科学専攻(D)	0		0	令和4年4月学生募集停止
医歯薬学総合研究科				医歯薬学総合研究科				
保健学専攻(M)	30		60	保健学専攻(M)	30		60	
災害・被ばく医療科学共同専攻(M)	10		20	災害・被ばく医療科学共同専攻(M)	10		20	
医療科学専攻(D)	60		240	医療科学専攻(D)	60		240	
新興感染症病態制御学系専攻(D)	20		80	新興感染症病態制御学系専攻(D)	20		80	
放射線医療科学専攻(D)	5		20	放射線医療科学専攻(D)	5		20	
先進予防医学共同専攻(D)	10		40	先進予防医学共同専攻(D)	10		40	
生命薬科学専攻(M)	36		72	生命薬科学専攻(M)	36		72	
生命薬科学専攻(D)	10		30	生命薬科学専攻(D)	10		30	
熱帯医学・グローバルヘルス研究科				熱帯医学・グローバルヘルス研究科				
グローバルヘルス専攻(M)	37		62	グローバルヘルス専攻(M)	37		62	
グローバルヘルス専攻(D)	5		15	グローバルヘルス専攻(D)	10		30	定員変更(5)
				<u>プラネタリーヘルス学環の内数とする定員</u>	<u>(5)</u>		<u>(15)</u>	※
長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻(D)	5		15	長崎大学-ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻(D)	5		15	
				<u>プラネタリーヘルス学環(D)</u>	<u>5</u>		<u>15</u>	研究科等連係課程実施基本組織の設置(設置報告)
計	604		1,469	計	604		1,459	

※()内の数字は、熱帯医学・グローバルヘルス研究科グローバルヘルス専攻(D)から、プラネタリーヘルス学環(D)に活用する入学定員及び収容定員とし、内数とする。

設置の前後における学位等及び専任教員の所属の状況

届出時における状況					新設了学部等における状況									
学部等の名称	授与する学位等		異動先	専任教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	専任教員				
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授			
多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	博士(学術)	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻	30	16	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻 (兼務)	6	2	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻 (兼務)	6	2			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	6	2				経済学研究科 経営意思決定専攻 (兼務)	3	2			
			計	30	16				工学研究科 生産システム工学専攻 (兼務)	4	1			
経済学研究科 経営意思決定専攻	博士(経営学)	経済学関係	経済学研究科 経営意思決定専攻	25	12	水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻(兼務)	2	1	水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻(兼務)	2	1			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	3	2				医歯薬学総合研究科 医療科学専攻(兼務)	1	1			
			計	25	12				医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻(兼務)	3	3			
工学研究科 生産システム工学専攻	博士(工学)	工学関係	工学研究科 生産システム工学専攻	69	28	医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻(兼務)	1	1	医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻(兼務)	1	1			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	4	1				医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻(兼務)	2	2			
			計	69	28				熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携 グローバルヘルス専攻 (兼務)	12	7			
水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(学術)	農学関係 文学関係 法学関係 経済学関係	水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻	81	42	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	1	0	多文化社会学部	1	0			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	2	1				情報データ科学部	2	2			
			計	81	42				教育学研究科	1	0			
医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 医療科学専攻	156	77	熱帯医学研究所	1	0	グローバル連携機構	1	1			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	1	1				研究開発推進機構F FGアントレプレナーシップセンター	1	1			
			計	156	77				計	41	24			
医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻	34	25	医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻	74	29	74	29	74			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	3	3							プラネタリーヘルス学環(兼務)	2	2
			計	34	25							計	74	29
医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	医学関係 歯学関係 薬学関係	医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻	10	6	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携 グローバルヘルス専攻	31	12	31	12	31			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	1	1							プラネタリーヘルス学環(兼務)	12	7
			計	10	6							計	31	12
医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻	博士(医学)	医学関係	医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻	74	29	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携 グローバルヘルス専攻	31	12	31	12	31			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	2	2							プラネタリーヘルス学環(兼務)	12	7
			計	74	29							計	31	12
熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携 グローバルヘルス専攻	博士(グローバルヘルス)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携 グローバルヘルス専攻	31	12	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携 グローバルヘルス専攻	31	12	31	12	31			
			プラネタリーヘルス学環(兼務)	12	7							プラネタリーヘルス学環(兼務)	12	7
			計	31	12							計	31	12

基礎となる学部等の改編状況

【多文化社会学研究科】

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成30年4月	多文化社会学研究科 多文化社会学専攻(修士課程)設置	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	意見伺い(研究科の設置)
令和2年4月	多文化社会学専攻(博士後期課程)設置 多文化社会学専攻(修士課程)を博士前期課程に変更	文学関係 法学関係 社会学・社会福祉学関係	意見伺い(研究科の専攻に係る課程の変更)
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)

基礎となる学部等の改編状況

【経済学研究科】

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成7年4月	経済学研究科 経済経営政策専攻(修士課程)設置	経済学関係	設置申請(研究科)
平成16年4月	経営意思決定専攻(博士後期課程)設置 経済経営政策専攻(修士課程)を博士前期課程に変更	経済学関係	設置申請(研究科の専攻の 設置)
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護 学関係及びリハビリ テーション関係を除 く。)	設置報告(研究科等連係課 程実施基本組織の設置)

基礎となる学部等の改編状況

【工学研究科】

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成23年4月	工学研究科(3専攻)設置		事前伺い(研究科の設置)
	・総合工学専攻(博士前期課程)	工学関係	
	・生産システム工学専攻(博士後期課程)	工学関係	
	・グリーンシステム創成科学専攻(博士課程(5年一貫制))	工学関係	
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)

基礎となる学部等の改編状況

【水産・環境科学総合研究科】

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成23年4月	水産・環境科学総合研究科(5専攻)設置		事前伺い(研究科の設置)
	・水産学専攻(博士前期課程)	農学関係	
	・環境共生政策学専攻(博士前期課程)	文学関係, 法学関係, 経済学関係	
	・環境保全設計学専攻(博士前期課程)	農学関係	
	・環境海洋資源学専攻(博士後期課程)	農学関係, 文学関係, 法学関係, 経済学関係	
	・海洋フィールド生命科学専攻(博士課程(5年一貫制))	農学関係	
平成27年4月	環境科学専攻(博士前期課程)設置	法学関係 経済学関係 農学関係	事前伺い(研究科の専攻の設置)
	環境科学系2専攻 学生募集停止 ・環境共生政策学専攻(博士前期課程) ・環境保全設計学専攻(博士前期課程)	—	—
令和4年4月	海洋フィールド生命科学専攻(博士課程(5年一貫制)) 学生募集停止	—	—
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)

基礎となる学部等の改編状況

【医歯薬学総合研究科】

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成14年4月	医歯薬学総合研究科(4専攻)設置		設置申請(研究科)
	・医療科学専攻(博士課程)	医学関係 歯学関係	
	・新興感染症病態制御学系専攻(博士課程)	医学関係 薬学関係	
	・放射線医療科学専攻(博士課程)	医学関係 歯学関係 薬学関係	
	・生命薬科学専攻(博士前期課程・博士後期課程)	薬学関係	
平成18年4月	保健学専攻(修士課程)設置	保健衛生学関係(看護学関係) 保健衛生学関係(リハビリテーション関係)	設置申請(研究科の専攻の設置)
	熱帯医学専攻(修士課程)設置	医学関係	設置申請(研究科の専攻の設置)
	新興感染症病態制御学系専攻(博士課程)学位の分野(歯学関係)の追加	医学関係 歯学関係 薬学関係	—
平成22年4月	生命薬科学専攻(修士課程)設置	薬学関係	事前伺い(研究科の専攻の設置)
	生命薬科学専攻(博士前期課程)学生募集停止	—	—
平成24年4月	医療科学専攻(博士課程)課程変更	医学関係 歯学関係 薬学関係	事前伺い(研究科の専攻の課程変更)
	生命薬科学専攻(博士後期課程)課程変更 生命薬科学専攻(修士課程)を博士前期課程に変更	薬学関係	事前伺い(研究科の専攻の課程変更)
平成27年10月	熱帯医学専攻(修士課程)学生募集停止	—	—
平成28年4月	災害・被ばく医療科学共同専攻(修士課程)設置 ※福島県立医科大学大学院医学研究科との共同専攻	医学関係 保健衛生学関係(看護学関係)	事前伺い(研究科の専攻の設置)
	先進予防医学共同専攻(博士課程)設置 ※千葉大学大学院医学薬学府, 金沢大学大学院先進予防医学研究科との共同専攻	医学関係	事前伺い(研究科の専攻の設置)
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)

基礎となる学部等の改編状況

【熱帯医学・グローバルヘルス研究科】

開設又は 改編時期	改編内容等	学位又は 学科の分野	手続きの区分
平成27年4月	熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻(修士課程)設置	医学関係 保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	意見伺い(研究科の設置)
平成30年4月	博士後期課程(2専攻)設置 ・グローバルヘルス専攻 ・長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携 グローバルヘルス専攻 グローバルヘルス専攻(修士課程)を博士前期課程に変更	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	意見伺い(研究科の専攻に係る課程の変更)
令和4年10月	研究科等連係課程実施基本組織 プラネタリーヘルス学環設置	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	設置報告(研究科等連係課程実施基本組織の設置)

教育課程等の概要

プラネタリーヘルス学環

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	プラネタリーヘルス	プラネタリーヘルス特論	1①・②	2			○			12	10				兼2	オムニバス	
		小計（1科目）	—	2	0	0	—			12	10	0	0	0	兼2		
	政策とシステム	政策過程特論	1④	1			○				1						
		実装科学特論	1③	1			○			1			1		兼1	オムニバス	
		保健システム特論	2①	1			○			1			1			オムニバス	
		小計（3科目）	—	3	0	0	—			2	1	0	2	0	兼1		
	データ分析	政策分析法特論	2②	1			○			2	1		1		兼1	オムニバス	
		小計（1科目）	—	1	0	0	—			2	1	0	1	0	兼1		
	リーダーシップとマネジメント	組織マネジメント特論	1①	1			○				1				兼1	オムニバス	
		渉外マネジメント特論	1②	1			○			1	1					オムニバス	
		グローバルヘルスガバナンス特論	1③・④	1			○			2					兼2	オムニバス	
		小計（3科目）	—	3	0	0	—			4	2	0	0	0	兼2		
	実習科目	実務研修	1夏期	2					○	24	14		3		兼5		
		小計（1科目）	—	2	0	0	—			24	14	0	3	0	兼5		
	演習科目	プロジェクト演習	2④～3通	4				○		24	14		3		兼5		
		小計（1科目）	—	4	0	0	—			24	14	0	3	0	兼5		
	合計（10科目）			—	15	0	0	—		24	14	0	3	0	兼8	—	
	学位又は称号	博士（公衆衛生学）		学位又は学科の分野				保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）									
	修了要件及び履修方法							授業期間等									
3年以上在学し、必修科目15単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。							1学年の学期区分			4期							
							1学期の授業期間			10週							
							1時限の授業時間			90分							

教育課程等の概要														
【既設研究科】 多文化社会学研究科 多文化社会学専攻（博士後期課程）														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
講義科目	多文化社会学特論Ⅰ	1①	2			○			6					兼2 オムニバス
	多文化社会学特論Ⅱ	1②	2			○			2	1				兼2 オムニバス
	小計（2科目）	—	4	0	0	—			8	1	0	0	0	兼4
演習科目	研究演習Ⅰ	1通	4				○		16	14				
	研究演習Ⅱ	2通	4				○		16	14				
	小計（2科目）	—	8	0	0	—			16	14	0	0	0	
研究指導科目	研究指導	3通	4				○		16	14				
	小計（1科目）	—	4	0	0	—			16	14	0	0	0	
合計（5科目）		—	16	0	0	—			16	14	0	0	0	兼4
学位又は称号	博士（学術）		学位又は学科の分野			文学関係，法学関係，社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
3年以上在学し，16単位を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。						1学年の学期区分				2期（4クォータ）※				
						1学期の授業期間				15週（7.5週）※				
						1時限の授業時間				90分				
※ 本学では，2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の2期に分け，前期を4月1日から9月30日まで，後期を10月1日から翌年3月31日までとし，前期の前半を第1クォータ，後半を第2クォータ，後期の前半を第3クォータ，後半を第4クォータとしている。														

教育課程等の概要															
【既設研究科】 経済学研究科 経営意思決定専攻（博士後期課程）															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
意思決定基礎	トップマネジメント特論	1・2・3前		2		○			1						オムニバス オムニバス
	企業行動原理特論	1・2・3前		2		○				1					
	ゲーム理論特論	1・2・3前		2		○				3					
	数理計画法特論	1・2・3前		2		○			1						
	決定分析特論	1・2・3前		2		○			1	2					
	経営情報分析特論	1・2・3前		2		○			1						
	経済・経営史特論	1・2・3前		2		○				1					
小計（7科目）	—		0	14	0	—			4	5	0	0	0		
意思決定応用	人的資源管理特論	1・2・3後		2		○				1					オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
	財務会計特論	1・2・3後		2		○			2						
	企業ファイナンス特論	1・2・3後		2		○				1					
	金融システム特論	1・2・3後		2		○			2						
	国際金融特論	1・2・3後		2		○			1						
	現代世界経済特論	1・2・3後		2		○				1					
	労働経済学特論	1・2・3後		2		○			1	1					
	公共経済学特論	1・2・3後		2		○			1						
	ビジネス法特論	1・2・3後		2		○				1					
	国際関係論特論	1・2・3後		2		○				1					
小計（10科目）	—		0	20	0	—			7	6	0	0	0		
演習	テーマサーベイ	1・2・3前	4				○		9						
	リサーチ演習	1・2・3前	6				○		9						
	特別演習	1・2・3前	6				○		9						
	小計（3科目）	—	16	0	0	—			9	0	0	0	0		
合計（20科目）		—	16	34	0	—			12	13	0	0	0		
学位又は称号	博士（経営学）		学位又は学科の分野				経済学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
3年以上在学し、16単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。							1学年の学期区分			2期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

教育課程等の概要																
【既設研究科】 工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合科目	生産システム工学特別講義	1前		1		○			1					兼4	オムニバス	
	生産システム工学特別演習	1後	1				○		28	41						
	生産システム工学特別研究	1後	1					○	28	41						
	工場実習	1・2・3通		1				○						兼1		
	研究英語コミュニケーション講座	1・2・3③		1			○							兼1		
	スーパーコンピューテーション特論	1・2・3④		1			○							兼1		
小計（6科目）		—	2	4	0	—			28	41	0	0	0	兼5		
コース科目	ロボティクス特論	1・2・3前		2		○			1						兼1	
	人間機械システム工学特論	1・2・3前		2		○				1						
	応用材料強度学Ⅱ	1・2・3後		2		○				1						
	破壊解析学	1・2・3前		2		○										
	トライボ損傷評価学	1・2・3前		2		○				1						
	伝動システム学	1・2・3前		2		○				1						
	超精密加工・計測学特論	1・2・3後		2		○										兼1
	熱流体光計測学	1・2・3前		2		○			1							
	熱物質移動特論	1・2・3後		2		○			1							
	流体音響学	1・2・3後		2		○			1							
	熱物質変換基礎学	1・2・3前		2		○			1							
	多成分系熱力学特論	1・2・3後		2		○			1							
	応用材料強度学Ⅰ	1・2・3前		2		○				1						
	構造物解析学特論	1・2・3後		2		○			1							
	維持管理システム学特論	1・2・3前		2		○				1						
	複合構造学特論	1・2・3後		2		○			1							
	持続的居住計画論	1・2・3後		2		○			1							
	不安定振動学特論	1・2・3後		2		○			1							
	建築環境計画論	1・2・3後		2		○				1						
	コンクリート材料学特論	1・2・3後		2		○				1						
	空力弾性学特論	1・2・3前		2		○				1						
	社会基盤計画特論	1・2・3後		2		○				1						
	地圏環境工学	1・2・3前		2		○			1							
	地盤解析工学特論	1・2・3前		2		○			1							
	地盤防災工学特論	1・2・3前		2		○				1						
	鋼構造維持管理学	1・2・3後		2		○			1							
	土木遠隔計測学	1・2・3前		2		○			1							
構造振動学特論	1・2・3後		2		○				1							
環境水理学特論	1・2・3後		2		○								兼1			
水環境制御特論	1・2・3後		2		○				1							
環境マネジメントシステム論	1・2・3後		2		○			1								
環境設計学特論	1・2・3後		2		○				1							
小計（32科目）		—	0	64	0	—			14	14	0	0	0	兼3		

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
電気情報工学コース	光エレクトロニクス特論	1・2・3後		2		○			1						
	電磁界解析特論	1・2・3後		2		○				1					
	応用アンテナ工学特論	1・2・3前		2		○				1					
	応用電磁波工学特論	1・2・3後		2		○			1						
	パワー電子回路特論	1・2・3前		2		○				1					
	エネルギーエレクトロニクス特論	1・2・3後		2		○				1					
	非線形回路・システム特論	1・2・3後		2		○				1					
	プラズマ機能科学特論	1・2・3後		2		○				1					
	マグネティクス特論	1・2・3前		2		○				1					
	マグネティクス応用特論	1・2・3後		2		○									兼1
	電気駆動システム設計特論	1・2・3後		2		○				1					
	電力変換システム制御特論	1・2・3後		2		○									兼1
	電磁エネルギー放射・伝送特論	1・2・3前		2		○				1					
	電気エネルギーシステム特論	1・2・3前		2		○									兼1
	電気-機械エネルギー変換特論	1・2・3前		2		○			1						
	アナログ集積回路特論	1・2・3前		2		○			1						
	情報処理システム特論	1・2・3前		2		○				1					
	マルチメディア応用特論	1・2・3後		2		○			1						
	ソフトウェア科学特論	1・2・3後		2		○			1						
	再構成可能システム特論	1・2・3後		2		○			1						
	画像応用システム特論	1・2・3前		2		○				1					
	情報ネットワーク学特論	1・2・3後		2		○			1						
	通信応用代数学特論	1・2・3前		2		○				1					
	応用画像工学特論	1・2・3後		2		○			1						
	映像情報処理特論	1・2・3前		2		○			1						
	データマイニング応用特論	1・2・3前		2		○				1					
小計(26科目)		—	0	52	0	—			10	11	0	0	0	兼3	
物質工学コース	機能材料科学特論	1・2・3前		2		○									兼1
	界面物性学特論	1・2・3後		2		○			1						
	セラミックス物性化学	1・2・3後		2		○				1					
	高次構造材料学特論	1・2・3前		2		○									兼1
	金属物理学特論	1・2・3後		2		○									兼1
	無機複合物性学	1・2・3前		2		○				1					
	材料組織物性学	1・2・3後		2		○									兼1
	固体物理学特論	1・2・3後		2		○				1					
	ナノ無機材料学特論	1・2・3前		2		○				1					
	生物分子機能学	1・2・3前		2		○			1						
	生体機能物質化学	1・2・3前		2		○				1					
	天然物合成化学特論	1・2・3前		2		○				1					
	物質変換触媒化学	1・2・3後		2		○									兼1
	応用錯体化学特論	1・2・3後		2		○			1						
	無機変換化学特論	1・2・3前		2		○									兼1
	先端分光計測特論	1・2・3前		2		○				1					
	生体機能構造論	1・2・3前		2		○				1					
	分子組織科学特論	1・2・3後		2		○					1				兼1
界面機能科学特論	1・2・3後		2		○				1						
先端高分子科学特論	1・2・3後		2		○			1							
界面構造化学特論	1・2・3後		2		○									兼1	
量子計算設計学特論	1・2・3後		2		○			1							
先端構造分析化学特論	1・2・3後		2		○				1						
小計(23科目)		—	0	46	0	—			5	10	0	0	0	兼8	

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
国際水環境科学コース	高度膜分離技術論	1・2・3前		2		○				1					
	環境プロセス工学特論	1・2・3前		2		○			1						
	国際水処理工学特論	1・2・3前		2		○			1						
	水再生技術特論	1・2・3前		2		○				1					
	水処理設備計画特論	1・2・3前		2		○				1					
	国際機関共同研究	1・2・3後		1			○			1					
	水質モニタリング演習	1・2・3後		1			○			1					
小計（7科目）		—	0	12	0	—			1	1	0	0	0		
合計（94科目）		—	2	178	0	—			28	41	0	0	0	兼16	
学位又は称号		博士（工学）		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
3年以上在学し、総合科目から2単位、総合科目及び所属コースのコース科目から13単位以上の計15単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。なお、指導教員が認めた場合に限り、他コースの開講科目について修得した単位並びに他の専攻、研究科及び大学院（外国の大学院を含む。）において修得した単位は、4単位を限度として選択科目に算入することができる。この場合において、本研究科における修得単位数として算入することができるのは、博士前期課程と博士後期課程とを合わせて15単位を限度とする。							1学年の学期区分		2期（4クォータ）※						
							1学期の授業期間		15週（7.5週）※						
							1時限の授業時間		90分						
※本学では、2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は、前期及び後期の2期に分け、前期を4月1日から9月30日まで、後期を10月1日から翌年3月31日までとし、前期の前半を第1クォータ、後半を第2クォータ、後期の前半を第3クォータ、後半を第4クォータとしている。															

教育課程等の概要														
【既設研究科】 水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 (水産科学コース)	海洋生物流体力学特論	1・2・3③		2		○			1					
	海洋生態システム論	1・2・3後		2		○			1					
	海洋システム解析学	1・2・3③		2		○			1					
	漁船漁法工学	1・2・3①		2		○			1					
	漁船船型学特論	1・2・3前		2		○				1				
	漁業生産システム設計学	1・2・3後		2		○				1				
	海洋生物環境学	1・2・3②		2		○				1				
	海洋環境流体力学	1・2・3後		2		○				1				
	海洋生物汚損対策特論	1・2・3④		2		○			1					
	海洋微生物生態学	1・2・3前		2		○			1					
	沿岸底生生態学	1・2・3後		2		○				1				
	海洋浮游生物学	1・2・3④		2		○			1					
	水族病理学	1・2・3前		2		○			1					
	栽培漁業論	1・2・3①		2		○			1					
	海洋生物生体防御論	1・2・3後		2		○				1				
	分子細胞生物学	1・2・3③		2		○				1				
	生体高分子化学	1・2・3①		2		○				1				
	細胞機能生化学	1・2・3後		2		○					1			
	水産無脊椎動物学特論	1・2・3③		2		○				1				
	海洋植物資源学Ⅰ	1・2・3②		2		○			1					
	海洋植物資源学Ⅱ	1・2・3②		2		○			1					
	生理活性物質化学特論	1・2・3②		2		○			1					
	水族情報学	1・2・3③		2		○			1					
	海洋測位学	1・2・3①		2		○			1					
	水産経営管理学	1・2・3③		2		○			1					
	水産資源社会学	1・2・3②		2		○			1					
	生物栄養化学特論	1・2・3③		2		○			1					
	水族内分泌学	1・2・3③		2		○			1					
	魚類生態学特論	1・2・3①		2		○			1					
	海洋生物栄養学	1・2・3③		2		○			1					
	水産食品化学	1・2・3前		2		○				1				
	水産衛生化学	1・2・3①		2		○			1					
	水族毒性学	1・2・3前		2		○			1					
	生体関連物質化学特論	1・2・3③		2		○				1				
	応用生体分子機能論	1・2・3②		2		○				1				
	深海生物環境学特論	1・2・3③		2		○				1				
	水圏生物環境学特論	1・2・3②		2		○			1					
	高分子機能生化学特論	1・2・3後		2		○			1					
	海洋生物工学特論	1・2・3④		2		○			1					
	サンゴ礁生態系保全学	1・2・3後		2		○							兼1	
	亜熱帯海洋動物分布生態学	1・2・3後		2		○							兼1	
	生元素循環学	1・2・3後		2		○							兼1	
	海洋資源生物学	1・2・3後		2		○							兼1	
	水産資源動態学	1・2・3後		2		○							兼1	
	水産統計学	1・2・3後		2		○							兼1	
	生物機能生化学	1・2・3②		2		○				1				
	共生微生物学	1・2・3③		2		○			1					
	インターンシップ	1・2・3通		1		○			1					
小計（48科目）		—	0	95	0	—	—	25	14	0	1	0	兼6	

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 (環境科学コース)	環境地下水学特論	1・2・3前		2		○			1	1					オムニバス
	エネルギー資源学特論	1・2・3③		2		○				1					
	地域環境計測学特論	1・2・3③		2		○			1						
	植物生態学特論	1・2・3③		2		○				1					
	大気環境学特論	1・2・3②		2		○			1	1					オムニバス
	環境物理学特論	1・2・3④		2		○				1					
	堆積岩地球環境解析学特論	1・2・3①		2		○			1						
	地震・火山学特論	1・2・3③		2		○			1						
	放射線生物物理学特論	1・2・3③		2		○			1						
	環境生物化学特論	1・2・3前		2		○			1						
	環境化学特論	1・2・3③		2		○			1						
	グリーンケミストリー特論	1・2・3③		2		○				1					
	微量環境分析化学特論	1・2・3④		2		○			1	1					
	生殖生理学特論	1・2・3③		2		○			1						
	陸域生物環境学特論	1・2・3後		2		○				1					
	環境適応学特論	1・2・3①		2		○			1						
	環境生理学特論	1・2・3④		2		○			1						
	保全生態学特論	1・2・3①		2		○			1			1			
	環境毒理学特論	1・2・3④		2		○			1						
	動物生態学特論	1・2・3②		2		○			1						
	環境哲学特論	1・2・3前		2		○				1					
	人間生活環境学特論	1・2・3③		2		○				1					
	環境思想学特論	1・2・3①		2		○			1						
	複合文化環境特論	1・2・3①		2		○			1						
	環境民俗学特論	1・2・3③		2		○				1					
	共生持続社会学特論	1・2・3①		2		○			1						
	環境政策学特論	1・2・3後		2		○				1					
	環境経済学特論	1・2・3前		2		○				1					
	環境社会学特論	1・2・3②		2		○			1						
	環境マネジメント学特論	1・2・3④		2		○				1					
	地域環境政策学特論	1・2・3③		2		○			1						
	環境リスク政策学特論	1・2・3①		2		○				1					
	環境資源経済学特論	1・2・3前		2		○				1					
	環境観光学特論	1・2・3①		2		○				1					
	環境計画学特論	1・2・3③		2		○			1						
	森林環境学特論	1・2・3②		2		○				1					
	地域計画学特論	1・2・3①		2		○			1						
	国際環境政策学特論	1・2・3後		2		○				1					
	地域社会学特論	1・2・3④		2		○				1					
	環境法学特論	1・2・3前		2		○				1					
	インターンシップ	1・2・3通		1		○			1						
小計（41科目）		—	0	81	0		—	18	19	0	1	0			

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 水産・環境科学総合研究科 環境海洋資源学専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	特別講義	1・2・3前	2			○			1	5					オムニバス
	特別演習	1・2・3後	1				○		42	36		3			
	学外実習	1・2・3前	1					○	1						
	小計（3科目）	—	4	0	0	—			42	36	0	3	0		
合計（92科目）		—	4	176	0	—			42	36	0	3	0	兼6	
学位又は称号	博士（水産学） 博士（環境科学） 博士（学術）	学位又は学科の分野				農学関係，文学関係，法学関係， 経済学関係									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
3年以上在学し，15単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。科目区分ごとの必要単位は以下のとおりである。						1学年の学期区分			2期（4クォータ）※						
						1学期の授業期間			15週（7.5週）※						
						1時限の授業時間			90分						
専門科目	合計11単位以上（うち，所属コースから4単位以上，他コースから2単位以上を修得すること。）														
必修科目	合計4単位														
<p>※本学では，2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の2期に分け，前期を4月1日から9月30日まで，後期を10月1日から翌年3月31日までとし，前期の前半を第1クォータ，後半を第2クォータ，後期の前半を第3クォータ，後半を第4クォータとしている。</p>															

教育課程等の概要															
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 (博士課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	1・2④	2			○			5	4				兼8
		小計 (1科目)	—	2	0	0	—			5	4	0	0	0	兼8
	生命医療科学概論	生命倫理学	1・2④		1		○			1	2				兼1 兼1
		医療情報学	1・2③		1		○			1					兼10
		国際・熱帯医学	1・2②		1		○								兼10
		小計 (3科目)	—	0	3	0	—			2	2	0	0	0	兼12
	生命医療科学特論	生物統計学	1・2③		1		○			1					兼2
		分子細胞生物学	1・2③		1		○			1	1				兼6
		ゲノム科学	1・2④		1		○				1				兼6
		生体材料科学	1・2①		1		○			3	3				兼4
		硬組織疾患特論	1・2②		1		○			3			1		兼6
		医薬品化学	1・2②		1		○								兼6
		生体分子解析学	1・2④		1		○								兼3
		腫瘍診断治療学	1・2④		1		○			1		1			兼6
		移植・再生医療学特論	1・2①		1		○			3	3				兼2
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①		1		○			6					兼2
		包括的腫瘍学特論(基礎編)	1・2②		1		○			5					兼2
		包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④		1		○			1	1				兼5
		神経科学特論	1・2②		1		○								兼1
		先端医療科学特論(基礎編)	1・2通		1		○			1					兼1
		先端医療科学特論(臨床編)	1・2通		1		○								兼1
		先端新興感染症病態制御学特論	1・2通		1		○								兼1
	先端放射線医療科学特論	1・2通		1		○								兼1	
先端臨床試験特論	1・2②		1		○			1					兼4		
小計 (18科目)	—	0	18	0	—			23	8	1	1	0	兼39		
生命医療科学実習	先端機器実習	1・2②		1										兼1	
	小計 (1科目)	—	0	1	0	—			0	0	0	0	0	兼1	
がん ブ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ ル 養 成 コ ー ス	がんゲノム医療専門医 師・歯科医師養成コース、 がんゲノム医療専門 薬剤師養成コース、 包括的がん専門医 師・歯科医師養成コース、 包括的がん専門薬剤師 養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)	1・2前		1		○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)	1・2後		1		○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)	1・2前		1		○			1					
		集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)	1・2後		1		○			1					
		集学的がん治療学実習	1・2通		2				○	1					兼2
		在宅・地域医療実習	1・2通		1				○	1					兼1
		離島・僻地病院実習	1・2通		2				○	1					兼1
	小計 (7科目)	—	0	9	0	—			1	0	0	0	0	兼3	
がんゲノム医療専門薬 剤師養成コース、包括 的がん専門薬剤師養成 コース	がん専門薬剤師養成実習A	1・2通		8				○	1						
	がん専門薬剤師養成実習B	1・2通		8				○	1						
小計 (2科目)	—	0	16	0	—			2	0	0	0	0			
医療 科 学 専 攻	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④		2			○		1		2	1		兼1
		組織細胞生物学演習	1・2④		2			○			1	2			兼1
		顎顔面解剖学演習	1・2④		2			○			1				兼1
		細胞生物学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		内臓機能生理学演習	1・2④		2			○		1		1			兼1
		生化学演習	1・2④		2			○		1		1			兼1
		腫瘍医学演習	1・2④		2			○		1	1				兼1
		臨床疫学演習	1・2④		2			○		1					兼3
		分子標的医学演習	1・2④		2			○		1			1		兼1
		加齢口腔生理学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		医科薬理学演習	1・2④		2			○		1	1		1		兼1
		歯科薬理学演習	1・2④		2			○		1			1		兼1
		病理診断科学演習	1・2④		2			○		1					兼1
		基礎病理学演習	1・2④		2			○		1	1	1			兼1
		口腔病理学演習	1・2④		2			○			1		1		兼1
		生体材料学演習	1・2④		2			○		1					兼1
分子硬組織生物学演習	1・2④		2			○		1					兼1		

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
医療科学専攻	法医学演習	1・2④		2				○		1				1		
	歯科法医学演習	1・2④		2				○		1						
	フロンティア口腔科学演習	1・2④		2				○		1						
	口腔保健学演習	1・2④		2				○		1	1					
	眼科・視覚科学演習	1・2④		2				○		1						兼1
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④		2				○		1						兼1
	脳神経外科学演習	1・2④		2				○		1	1					
	麻酔集中治療医学演習	1・2④		2				○		1	1					
	心臓血管外科学演習	1・2④		2				○		1						
	泌尿器科学演習	1・2④		2				○		1	1					兼1
	腫瘍外科学演習	1・2④		2				○		1	2					兼1
	移植・消化器外科学演習	1・2④		2				○		2	1					兼1
	産科婦人科学演習	1・2④		2				○		1						
	整形外科学演習	1・2④		2				○		1	1			1		
	形成再建外科学演習	1・2④		2				○		1						
	精神神経科学演習	1・2④		2				○		1						
	皮膚病態学演習	1・2④		2				○		1	1					兼1
	循環器内科学演習	1・2④		2				○		1	1	1				
	消化器内科学演習	1・2④		2				○		1						
	呼吸器内科学演習	1・2④		2				○		1	1	1				兼1
	病態解析・診断学演習	1・2④		2				○		1		1				兼2
	小児科学演習	1・2④		2				○		1				1		兼1
	放射線診断治療学演習	1・2④		2				○		1	1					
	臨床腫瘍学演習	1・2④		2				○		1						兼3
	歯科麻酔学演習	1・2④		2				○		1	1					
	歯科矯正学演習	1・2④		2				○		1	1					
	小児歯科学演習	1・2④		2				○		1						
	歯周歯内治療学演習	1・2④		2				○		1						
	口腔インプラント学演習	1・2④		2				○		1	1					
	歯科補綴学演習	1・2④		2				○		1						兼1
	口腔腫瘍治療学演習	1・2④		2				○		1						
	顎口腔再生外科学演習	1・2④		2				○		1	2			1		
	口腔診断・情報科学演習	1・2④		2				○		1	1					
	看護学演習	1・2④		2				○		5						
	理学療法学演習	1・2④		2				○		3	1					
	作業療法学演習	1・2④		2				○		2						
	保健科学演習	1・2④		2				○		4						
	先端臨床薬学特論	1・2④		1			○			1	1					
	先端薬物治療学特論	1・2④		1			○			1						
	薬物治療学演習	1・2④		2				○		1						
	医薬品情報学演習	1・2④		2				○		1	1					
	薬剤学演習	1・2④		2				○		1	1					
	実践薬学演習	1・2④		2				○		1	1					
	比較動物医学演習	1・2④		2				○		1						
	ゲノム機能解析学演習	1・2④		2				○		1		1				
予防医学演習	1・2④		2				○		1		1					
先端創薬学演習	1・2④		2				○		1							
地域保健・福祉連携学演習	1・2④		2				○			1						
内分泌・代謝内科学演習	1・2④		2				○								兼1	
脳神経内科学演習	1・2④		2				○		1							
腎臓内科学演習	1・2④		2				○		1						兼2	
臨床薬物動態学演習	1・2④		2				○			1						
救命救急医療学演習	1・2④		2				○		1							
脳神経病態学演習	1・2④		2				○			1						
神経免疫学演習	1・2④		2				○		1							
地域包括ケア学演習	1・2④		2				○		1							
包括的腫瘍学演習	1・2④		2				○			1						
免疫学演習	1・2④		2				○								兼2	
感染分子解析学演習	1・2④		2				○								兼2	

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
医療科学系専攻	臨床感染症学演習	1・2④		2			○									兼3 兼1
	口腔病原微生物学演習	1・2④		2			○									
	臨床微生物学特論	1・2③		1		○			1							
	感染症学特論	1・2③		1			○		1							
	臨床感染症学実習	1・2③		2			○									兼3
	感染制御学実習	1・2②		1			○									兼5
	短期海外臨床研修	3・4②		1			○									兼3
	熱帯ウイルス病学演習	1・2④		2			○									兼1
	病原細菌学演習	1・2④		2			○									兼3
	病原原虫学演習	1・2④		2			○									兼2
	熱帯寄生虫学演習	1・2④		2			○									兼2
	免疫遺伝学演習	1・2④		2			○									兼1
	感染病理学演習	1・2④		2			○									兼1
	熱帯医学情報学演習	1・2④		2			○									兼2
	国際保健学演習	1・2④		2			○									兼2
	病害動物学演習	1・2④		2			○									兼1
	臨床熱帯医学演習	1・2④		2			○									兼1
	熱帯小児感染症学演習	1・2④		2			○									兼1
	臨床開発学演習	1・2④		2			○									兼1
	熱帯細菌学演習	1・2④		2			○									兼1
	熱帯微生物学演習	1・2④		2			○									兼1
	新興ウイルス感染症学演習	1・2④		2			○									兼3
	ウイルス感染制御学演習	1・2④		2			○									兼1
	ウイルス生態学演習	1・2④		2			○									兼1
	臓器統合制御学演習	1・2④		2			○									兼1
	医療政策学演習	1・2④		2			○									兼1
	ウイルス肝炎治療学演習	1・2④		2			○									兼1
	先端医療学演習	1・2④		2			○									兼2
	分子免疫学演習	1・2④		2			○									兼1
	機能形態学演習	1・2④		2			○									兼1
	臨床病理学演習	1・2④		2			○									兼1
	基礎抗酸菌症学演習	1・2④		2			○									兼2
	臨床抗酸菌症学演習	1・2④		2			○									兼3
	放射線災害医療学演習	1・2④		2			○									兼3
	放射線分子疫学演習	1・2④		2			○									兼1
	放射線生物・防護学演習	1・2④		2			○									兼1
	放射線・環境健康影響学演習	1・2④		2			○									兼1
	ゲノム機能修復学演習	1・2④		2			○									兼1
	幹細胞生物学演習	1・2④		2			○									兼2
	血液内科学演習	1・2④		2			○									兼2
	アイソトープ診断治療学演習	1・2④		2			○									兼2
	国際ヒパクシャ医療学演習	1・2④		2			○									兼1
	神経機能学演習	1・2④		2			○									兼4
	公衆衛生学演習	1・2④		2			○									兼2
	医療情報学演習	1・2④		2			○									兼1
	地域医療学演習	1・2④		2			○									兼2
	リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④		2			○									兼6
総合診療学演習	1・2④		2			○									兼3	
国際保健医療福祉学演習	1・2④		2			○									兼1	
人類遺伝学演習	1・2④		2			○									兼2	
分子医学演習	1・2④		2			○									兼1	
腫瘍・診断病理学演習	1・2④		2			○									兼1	
研究支援科目	課題研究	課題研究Ⅰ(医療科学)	1・2①	2			○		75	45	11	14				兼26
		課題研究Ⅱ(医療科学)	1・2③	2			○		74	45	11	14				兼26
	実習科目	特別実習Ⅰ(医療科学)	2・3②	2				○	73	47	12	13				兼28
特別実習Ⅱ(医療科学)		2・3④	2				○	72	47	11	13				兼30	
論文研究	論文研究Ⅰ(医療科学)	論文研究Ⅰ(医療科学)	3・4①	4			○	72	47	11	14					兼26
		論文研究Ⅱ(医療科学)	3・4③	4			○	72	47	12	14					兼25
	小計(134科目)		—	16	250	0	—	77	53	12	14	0				兼75

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門薬剤師養成コース	専門薬剤師養成実習（感染制御）	2・3後		4				○	2						兼1
	専門薬剤師養成実習（糖尿病）	2・3通		4				○	1						
	専門薬剤師養成実習（精神科）	2・3通		4				○	1						
	専門薬剤師養成実習（妊婦・授乳婦）	2・3前		4				○	3						
	コーディネーター養成実習	2・3前		4				○	1	1					
	小計（5科目）	—	0	20	0	—	—	—	6	1	0	0	0	兼1	
ハイブリッド医療人養成コース	臨床先端医療機器特論	1・2通	3				○		3	1					兼3
	臨床先端医療機器実習	1・2通	2					○	3	2					兼4
	ロボティクス特論	1・2前		2			○								兼1
	超精密加工・計測学特論	1・2後		2			○								兼1
	応用材料強度学Ⅰ	1・2前		2			○								兼1
	電気駆動システム設計特論	1・2後		2			○								兼1
	画像応用システム特論	1・2前		2			○								兼1
	映像情報処理特論	1・2前		2			○								兼1
	無機複合物性学	1・2前		2			○								兼1
	先端高分子科学特論	1・2後		2			○								兼1
	先進センシング科学特論	1・2③		2			○								兼1
	先端高分子材料科学特論	1・2④		2			○								兼1
学外連携セミナー	1・2通		2					○		1				兼2	
	小計（13科目）	—	5	22	0	—	—	—	3	2	0	0	0	兼15	
地域包括ケア研究	地域包括ケア特論	1・2後		3			○		1						
	地域包括ケア演習	1・2後		2				○	1						
	地域包括ケア実習	1・2前		2				○	1						
	在宅・地域医療実習	1・2通		1				○	1						兼1
	離島・僻地病院実習	1・2通		2				○	1						兼1
	小計（5科目）	—	0	10	0	—	—	—	2	0	0	0	0	兼1	
合計（189科目）			—	23	349	0	—	—	25	52	12	15	0	兼112	
学位又は称号		博士（学術），博士（医学），博士（歯学），博士（薬学）			学位又は学科の分野			医学関係，歯学関係，薬学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
4年以上在学し，以下に記載する最低修得単位数を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。医療科学専攻及び各コースの必要単位は，以下のとおりである。							1学年の学期区分		2期（4クォータ）※						
							1学期の授業期間		15週（7.5週）※						
							1時限の授業時間		90分						
○医療科学専攻（コースに所属しない場合） （共通科目） 合計8単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 2単位以上 3.生命医療科学特論，生命医療科学実習 4単位以上 （研究支援科目） 合計14単位以上 1.必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（医療科学）」，「課題研究Ⅱ（医療科学）」，「特別実習Ⅰ（医療科学）」，「特別実習Ⅱ（医療科学）」） 2.選択科目 6単位以上 ※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8単位															
○がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース （共通科目） 合計4単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 1単位以上 3.生命医療科学特論 1単位（「腫瘍学特論（基礎編）」） （コース科目） 6単位（「集学的がん治療学特論Ⅰ（総論）」，「集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療）」，「集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん）」，「集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療）」，「集学的がん治療学実習」） （研究支援科目） 合計14単位以上 1.必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（医療科学）」，「課題研究Ⅱ（医療科学）」，「特別実習Ⅰ（医療科学）」，「特別実習Ⅱ（医療科学）」） 2.選択科目 6単位以上 ※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8単位															

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
<p>○包括的がん専門医師・歯科医師養成コース (共通科目) 合計4単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 1単位以上 3.生命医療科学特論 1単位 (「腫瘍学特論(臨床編)」) (コース科目) 合計6単位以上 1.選択科目 4単位以上 (「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」, 「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」, 「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)」, 「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」, 「在宅・地域医療実習」, 「離島・僻地病院実習」) ※「在宅・地域医療実習」及び「離島・僻地病院実習」を1単位以上履修する。 2.選択必修科目 2単位 (「集学的がん治療学実習」) (研究支援科目) 合計14単位以上 1.必修科目 8単位 (「課題研究Ⅰ(医療科学)」, 「課題研究Ⅱ(医療科学)」, 「特別実習Ⅰ(医療科学)」, 「特別実習Ⅱ(医療科学)」) 2.選択科目 6単位以上 ※研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 (論文研究) 8単位</p>														
<p>○がんゲノム医療専門薬剤師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コース (共通科目) 合計4単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 1単位以上 3.生命医療科学特論 1単位 ※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(基礎編)」を履修し、包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(臨床編)」を履修する。 (コース科目) 合計12単位以上 1.選択科目 2単位以上 (「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」, 「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」, 「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)」, 「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」) 2.選択必修科目 10単位 (「集学的がん治療学実習」, 「がん専門薬剤師養成実習A」, 「がん専門薬剤師養成実習B」) ※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習A」を履修し、包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習B」を履修する。 (研究支援科目) 8単位 (「課題研究Ⅰ(医療科学)」, 「課題研究Ⅱ(医療科学)」, 「特別実習Ⅰ(医療科学)」, 「特別実習Ⅱ(医療科学)」) (論文研究) 8単位</p>														
<p>○医療科学専攻のハイブリッド医療人養成コースの最低修得単位数 (共通科目) 生命医療科学セミナー 2単位 生命医療科学概論, 生命医療科学特論 1単位以上 (コース科目) 臨床先端医療機器特論 3単位 臨床先端医療機器実習 2単位 ロボティクス特論, 超精密加工・計測学特論, 応用材料強度学Ⅰ, 電気駆動システム設計特論, 画像応用システム特論, 映像情報処理特論, 無機複合物性学, 先端高分子科学特論, 先進センシング科学特論, 先端高分子材料科学特論, 学外連携セミナー 4単位以上 (研究支援科目) 必修科目 8単位 選択科目(備考) 4単位以上 (論文研究) 8単位 合計 32単位以上 備考 研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。</p>														
<p>○医療科学専攻の専門薬剤師養成コース及びコーディネーター養成コースの最低修得単位数 (共通科目) 合計8単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 2単位以上 3.生命医療科学特論, 生命医療科学実習 4単位以上 (コース科目) 研究科が開設する病院における実習(備考1) 4単位 (研究支援科目) 合計12単位以上 1.必修科目 8単位 (「課題研究Ⅰ(医療科学)」, 「課題研究Ⅱ(医療科学)」, 「特別実習Ⅰ(医療科学)」, 「特別実習Ⅱ(医療科学)」) 2.選択科目(備考2) 4単位以上 (論文研究) 8単位 合計 32単位以上</p>														
<p>備考 1 研究科が開設する病院における実習について、1コースを選択すること。ただし、2コースまで選択することができる。 2 研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。</p>														

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻（博士課程）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	

○医療科学専攻の地域包括ケア研究医養成コースの最低修得単位数

（共通科目）

生命医療科学セミナー 2単位

生命医療科学概論，生命医療科学特論 1単位以上

（コース科目）

地域包括ケア特論，地域包括ケア演習，地域包括ケア実習，在宅・地域医療実習，離島・僻地病院実習 7単位以上

（研究支援科目）

必修科目 8単位

選択科目（備考） 6単位以上

（論文研究） 8単位

合計 32単位以上

備考 研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

※本学では，2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は，前期及び後期の2期に分け，前期を4月1日から9月30日まで，後期を10月1日から翌年3月31日までとし，前期の前半を第1クォータ，後半を第2クォータ，後期の前半を第3クォータ，後半を第4クォータとしている。

教育課程等の概要														
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻 (博士課程)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目 (熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く)	生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	1・2④	2		○								兼17
		小計 (1科目)	-	0	2	0	-		0	0	0	0	0	兼17
	生命医療科学概論	生命倫理学	1・2④		1		○		1					兼1
		医療情報学	1・2③		1		○							兼4
		国際・熱帯医学	1・2②		1		○		9					兼1
		小計 (3科目)	-	0	3	0	-		10	0	0	0	0	兼6
	生命医療科学特論	生物統計学	1・2③		1		○							兼1
		分子細胞生物学	1・2③		1		○							兼4
		ゲノム科学	1・2④		1		○		1	1				兼5
		生体材料科学	1・2①		1		○							兼6
		硬組織疾患特論	1・2②		1		○		1	1				兼6
		医薬品化学	1・2②		1		○							兼6
		生体分子解析学	1・2④		1		○							兼3
		腫瘍診断治療学	1・2④		1		○							兼8
		移植・再生医療学特論	1・2①		1		○							兼8
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①		1		○							兼6
		包括的腫瘍学特論(基礎編)	1・2②		1		○							兼7
		包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④		1		○							兼7
神経科学特論		1・2②		1		○							兼1	
先端医療科学特論(基礎編)		1・2通		1		○							兼1	
先端医療科学特論(臨床編)	1・2通		1		○		1							
先端新興感染症病態制御学特論	1・2通		1		○		1							
先端放射線医療科学特論	1・2通		1		○							兼1		
先端臨床試験特論	1・2②		1		○							兼5		
小計 (18科目)	-	0	18	0	-			3	1	0	0	0	兼68	
生命医療科学実習	先端機器実習	1・2②		1									兼1	
	小計 (1科目)	-	0	1	0	-		0	0	0	0	0	兼1	
コース科目	がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース, がんゲノム医療専門薬剤師養成コース, 包括的がん専門医師・歯科医師養成コース, 包括的がん専門薬剤師養成コース	集学的がん治療学特論I(総論)	1・2前		1		○							兼1
		集学的がん治療学特論II(がんゲノム医療)	1・2後		1		○							兼1
		集学的がん治療学特論III(小児・AYA・希少がん)	1・2前		1		○							兼1
		集学的がん治療学特論IV(ライフステージに応じたがん医療)	1・2後		1		○							兼1
		集学的がん治療学実習	1・2通		2									兼3
		在宅・地域医療実習	1・2通		1									兼2
		離島・僻地病院実習	1・2通		2									兼2
	小計 (7科目)	-	0	9	0	-			0	0	0	0	兼4	
がんゲノム医療専門薬剤師養成コース, 包括的がん専門薬剤師養成コース	がん専門薬剤師養成実習A	1・2通		8									兼1	
	がん専門薬剤師養成実習B	1・2通		8									兼1	
	小計 (2科目)	-	0	16	0	-			0	0	0	0	兼2	
新興感染症病態制御グローバルリーダー育成コースを除く	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④		2			○						兼5
		組織細胞生物学演習	1・2④		2			○						兼3
		顎顔面解剖学演習	1・2④		2			○						兼2
		細胞生物学演習	1・2④		2			○						兼1
		内臓機能生理学演習	1・2④		2			○						兼2
		生化学演習	1・2④		2			○						兼3
		腫瘍医学演習	1・2④		2			○						兼3
		臨床疫学演習	1・2④		2			○						兼1
		分子標的医学演習	1・2④		2			○						兼5
		加齢口腔生理学演習	1・2④		2			○						兼2
		医科薬理学演習	1・2④		2			○						兼4
		歯科薬理学演習	1・2④		2			○						兼3
		病理診断科学演習	1・2④		2			○						兼1
		基礎病理学演習	1・2④		2			○						兼4
口腔病理学演習	1・2④		2			○						兼2		
生体材料学演習	1・2④		2			○						兼1		
分子硬組織生物学演習	1・2④		2			○						兼1		

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
新興感染症病態制御学系専攻（熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コースを除く）	法医学演習	1・2④		2			○								兼2
	歯科法医学演習	1・2④		2			○								兼1
	フロンティア口腔科学演習	1・2④		2			○								兼1
	口腔保健学演習	1・2④		2			○								兼2
	眼科・視覚科学演習	1・2④		2			○								兼2
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④		2			○								兼2
	脳神経外科学演習	1・2④		2			○								兼2
	麻酔集中治療医学演習	1・2④		2			○								兼2
	心臓血管外科学演習	1・2④		2			○								兼1
	泌尿器科学演習	1・2④		2			○								兼3
	腫瘍外科学演習	1・2④		2			○								兼3
	移植・消化器外科学演習	1・2④		2			○								兼4
	産科婦人科学演習	1・2④		2			○								兼1
	整形外科演習	1・2④		2			○								兼3
	形成再建外科学演習	1・2④		2			○								兼1
	精神神経科学演習	1・2④		2			○								兼1
	皮膚病態学演習	1・2④		2			○								兼3
	循環器内科学演習	1・2④		2			○								兼3
	消化器内科学演習	1・2④		2			○								兼1
	呼吸器内科学演習	1・2④		2			○								兼4
	病態解析・診断学演習	1・2④		2			○								兼4
	小児科学演習	1・2④		2			○								兼3
	放射線診断治療学演習	1・2④		2			○								兼2
	臨床腫瘍学演習	1・2④		2			○								兼4
	歯科麻酔学演習	1・2④		2			○								兼2
	歯科矯正学演習	1・2④		2			○								兼1
	小児歯科学演習	1・2④		2			○								兼1
	歯周歯内治療学演習	1・2④		2			○								兼1
	口腔インプラント学演習	1・2④		2			○								兼2
	歯科補綴学演習	1・2④		2			○								兼1
	口腔腫瘍治療学演習	1・2④		2			○								兼1
	顎口腔再生外科学演習	1・2④		2			○								兼4
	口腔診断・情報科学演習	1・2④		2			○								兼2
	看護学演習	1・2④		2			○								兼5
	理学療法学演習	1・2④		2			○								兼4
	作業療法学演習	1・2④		2			○								兼2
	保健科学演習	1・2④		2			○								兼4
	先端臨床薬学特論	1・2④		1			○								兼2
	先端薬物治療学特論	1・2④		1			○								兼1
	薬物治療学演習	1・2④		2			○								兼1
	医薬品情報学演習	1・2④		2			○								兼2
	薬剤学演習	1・2④		2			○								兼2
	実践薬学演習	1・2④		2			○								兼2
	比較動物医学演習	1・2④		2			○								兼1
	ゲノム機能解析学演習	1・2④		2			○								兼1
予防医学演習	1・2④		2			○								兼1	
先端創薬学演習	1・2④		2			○								兼1	
地域保健・福祉連携学演習	1・2④		2			○								兼1	
内分泌・代謝内科学演習	1・2④		2			○								兼1	
脳神経内科学演習	1・2④		2			○								兼1	
腎臓内科学演習	1・2④		2			○								兼3	
臨床薬物動態学演習	1・2④		2			○								兼1	
救命救急医療学演習	1・2④		2			○								兼1	
脳神経病態学演習	1・2④		2			○								兼1	
神経免疫学演習	1・2④		2			○								兼1	
地域包括ケア学演習	1・2④		2			○								兼1	
包括的腫瘍学演習	1・2④		2			○								兼1	
免疫学演習	1・2④		2			○			1					兼1	
感染分子解析学演習	1・2④		2			○			1					兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
新興感染症病態制御学系専攻（熱帯病・新興感染症病態制御学グローバルリーダー育成コースを除く）	研究支援科目	臨床感染症学演習	1・2④	2			○		1	1	1				
		口腔病原微生物学演習	1・2④	2			○		1						
		臨床微生物学特論	1・2③	1			○								兼1
		感染症学特論	1・2③	1			○								兼1
		臨床感染症学実習	1・2③	2			○		1	1	1				
		感染制御学実習	1・2②	1			○		1	1	1				兼2
		短期海外臨床研修	3・4②	1			○		1	1	1				
		熱帯ウイルス病学演習	1・2④	2			○		1						兼2
		病原細菌学演習	1・2④	2			○		1						兼1
		病原原虫学演習	1・2④	2			○		1						兼1
		熱帯寄生虫学演習	1・2④	2			○		1						兼1
		免疫遺伝学演習	1・2④	2			○		1						
		感染病理学演習	1・2④	2			○		1						
		熱帯医学情報学演習	1・2④	2			○		1						兼1
		国際保健学演習	1・2④	2			○		1						兼1
		病害動物学演習	1・2④	2			○		1						
		臨床熱帯医学演習	1・2④	2			○		1						
		熱帯小児感染症学演習	1・2④	2			○		1						
		臨床開発学演習	1・2④	2			○		1						
		熱帯細菌学演習	1・2④	2			○		1						
		熱帯微生物学演習	1・2④	2			○		1						
		新興ウイルス感染症学演習	1・2④	2			○		1						兼2
		ウイルス感染制御学演習	1・2④	2			○		1						
		ウイルス生態学演習	1・2④	2			○		1						
		臓器統合制御学演習	1・2④	2			○		1						
		医療政策学演習	1・2④	2			○		1						
		ウイルス肝炎治療学演習	1・2④	2			○		1						
		先端医療学演習	1・2④	2			○		1	1					
		分子免疫学演習	1・2④	2			○		1						
		機能形態学演習	1・2④	2			○		1						
		臨床病理学演習	1・2④	2			○		1						
		基礎抗酸菌症学演習	1・2④	2			○		1	1					
		臨床抗酸菌症学演習	1・2④	2			○		3						
		放射線災害医療学演習	1・2④	2			○								兼3
		放射線分子疫学演習	1・2④	2			○								兼1
		放射線生物・防護学演習	1・2④	2			○								兼1
		放射線・環境健康影響学演習	1・2④	2			○								兼1
		ゲノム機能修復学演習	1・2④	2			○								兼1
		幹細胞生物学演習	1・2④	2			○								兼2
		血液内科学演習	1・2④	2			○								兼2
		アイソトープ診断治療学演習	1・2④	2			○								兼2
		国際ヒバクシャ医療学演習	1・2④	2			○								兼1
		神経機能学演習	1・2④	2			○								兼4
公衆衛生学演習	1・2④	2			○								兼2		
医療情報学演習	1・2④	2			○								兼1		
地域医療学演習	1・2④	2			○								兼2		
リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2			○								兼6		
総合診療学演習	1・2④	2			○								兼3		
国際保健医療福祉学演習	1・2④	2			○								兼1		
人類遺伝学演習	1・2④	2			○								兼2		
分子医学演習	1・2④	2			○								兼1		
腫瘍・診断病理学演習	1・2④	2			○								兼1		
研究支援科目	課題研究	課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	1・2①	2			○		25	6	1			兼15	
		課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	1・2③	2			○		24	5	1			兼15	
実習科目	特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学）	特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学）	2・3②	2			○		22	7	1			兼15	
		特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学）	2・3④	2			○		23	7	1			兼15	
論文研究	論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	論文研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）	3・4①	4			○		25	6	1			兼15	
		論文研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）	3・4③	4			○		25	6	1			兼15	
		小計（134科目）	—	16	250	0	—		25	7	1	0	0	兼185	

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手					
熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コース	感染症課題解決型科目群	ウイルス学特論	1後	1		○			1							兼4		
		細菌学特論	1後	1		○												
		疫学統計学特論	1後	1		○			1									
		寄生虫学特論	1・2前	1		○			1									
		病害動物学特論	1・2前	1		○			1									
		感染創薬学特論	1・2前	1		○											兼1	
	小計（6科目）		—	0	6	0	—	—	4	0	0	0	0	0	0	兼5		
	実習演習科目群	生物医科学実習	1・2前		2			○		1							兼1	
		グラント申請演習	1・2前		2			○		1								
		海外研修	2・3後		2			○		1								
		小計（3科目）		—	0	6	0	—	—	3	0	0	0	0	0	0		兼1
	グローバルリーダー教養科目群	感染症危機管理学	1・2後		1		○			2							兼1	
		生命倫理学	1・2④		1		○			1								
		文化人類学	1・2後		1		○			1								兼2
		国際経済学	1・2後		1		○											兼2
		国際法学	1・2後		1		○											兼1
	小計（5科目）		—	0	5	0	—	—	4	0	0	0	0	0	0	兼5		
	グローバルリーダー演習科目群	コミュニケーションスキル演習Ⅰ	1・2後		1			○									兼1 兼1	
		コミュニケーションスキル演習Ⅱ	1・2前		1			○										
		グローバルリーダー演習Ⅰ	2・3後		1			○		1								
グローバルリーダー演習Ⅱ		2・3後		1			○		1									
小計（4科目）		—	0	4	0	—	—	1	0	0	0	0	0	0	兼1			
課題研究	課題研究Ⅰ（グローバルリーダー）	1・2前		2			○		10	3						兼5		
	課題研究Ⅱ（グローバルリーダー）	1・2後		2			○		10	3						兼5		
	小計（2科目）		—	4	0	0	—	—	11	3	0	0	0	0	0	兼5		
論文研究	論文研究Ⅰ（グローバルリーダー）	3・4前		4				○	7	2						兼4		
	論文研究Ⅱ（グローバルリーダー）	3・4後		4				○	7	2						兼4		
	小計（2科目）		—	8	0	0	—	—	7	2	0	0	0	0	0	兼4		
合計（188科目）		—	28	328	0	—	—	25	8	1	0	0	0	0	兼222			

学位又は称号 博士（学術），博士（医学），博士（歯学），博士（薬学） 学位又は学科の分野 医学関係，歯学関係，薬学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等		
	4年以上在学し，以下に記載する最低修得単位数を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。新興感染症病態制御学系専攻及び各コースの必要単位数は，以下のとおりである。	1学年の学期区分	2期（4クォータ）※
	○新興感染症病態制御学系専攻（コースに所属しない場合） （共通科目） 合計8単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 2単位以上 3.生命医療科学特論，生命医療科学実習 4単位以上 （研究支援科目） 合計14単位以上 1.必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）」，「課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）」，「特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学）」，「特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学）」） 2.選択科目 6単位以上 ※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8単位	1学期の授業期間	15週（7.5週）※
		1時限の授業時間	90分

○がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース
（共通科目） 合計4単位以上
1.生命医療科学セミナー 2単位
2.生命医療科学概論 1単位以上
3.生命医療科学特論 1単位（「腫瘍学特論（基礎編）」）
（コース科目） 6単位（「集学的がん治療学特論Ⅰ（総論）」，「集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療）」，「集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん）」，「集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療）」，「集学的がん治療学実習」）
（研究支援科目） 合計14単位以上
1.必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（新興感染症病態制御学）」，「課題研究Ⅱ（新興感染症病態制御学）」，「特別実習Ⅰ（新興感染症病態制御学）」，「特別実習Ⅱ（新興感染症病態制御学）」）
2.選択科目 6単位以上
※研究科が開設するすべての授業科目から，科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。
（論文研究） 8単位

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻（博士課程）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	

○包括的がん専門医師・歯科医師養成コース

（共通科目） 合計4単位以上

1. 生命医療科学セミナー 2単位
2. 生命医療科学概論 1単位以上
3. 生命医療科学特論 1単位（「腫瘍学特論(臨床編)」）

（コース科目） 合計6単位以上

1. 選択科目 4単位以上（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん，希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」，「在宅・地域医療実習」，「離島・僻地病院実習」）

※「在宅・地域医療実習」及び「離島・僻地病院実習」を1単位以上履修する。

2. 選択必修科目 2単位（「集学的がん治療学実習」）

（研究支援科目） 合計14単位以上

1. 必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学)」）

2. 選択科目 6単位以上

※研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。

（論文研究） 8単位

○がんゲノム医療専門薬剤師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コース

（共通科目） 合計4単位以上

1. 生命医療科学セミナー 2単位
2. 生命医療科学概論 1単位以上
3. 生命医療科学特論 1単位

※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(基礎編)」を履修し、包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論(臨床編)」を履修する。

（コース科目） 合計12単位以上

1. 選択科目 2単位以上（「集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)」，「集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)」，「集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん，希少がん)」，「集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)」）

2. 選択必修科目 10単位（「集学的がん治療学実習」，「がん専門薬剤師養成実習A」，「がん専門薬剤師養成実習B」）

※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習A」を履修し、包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習B」を履修する。

（研究支援科目） 8単位（「課題研究Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「課題研究Ⅱ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅰ(新興感染症病態制御学)」，「特別実習Ⅱ(新興感染症病態制御学)」）

（論文研究） 8単位

○熱帯病・新興感染症制御グローバルリーダー育成コース

（感染症課題解決型科目群） 6単位

（実習演習科目群，グローバルリーダー教養科目群及びグローバルリーダー演習科目群） 12単位以上

（課題研究） 4単位

（論文研究） 8単位

※本学では、2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は、前期及び後期の2期に分け、前期を4月1日から9月30日まで、後期を10月1日から翌年3月31日までとし、前期の前半を第1クォータ、後半を第2クォータ、後期の前半を第3クォータ、後半を第4クォータとしている。

教育課程等の概要																	
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻 (博士課程)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目	生命医療科学セミナー	生命医療科学トピックス	1・2④	2			○			3						兼14	
		小計 (1科目)	—	2	0	0	—			3	0	0	0	0		兼14	
	生命医療科学概論	生命倫理学	1・2④		1			○									兼2
		医療情報学	1・2③		1			○									兼4
		国際・熱帯医学	1・2②		1			○									兼10
		小計 (3科目)	—	0	3	0	—			0	0	0	0	0		兼16	
	生命医療科学特論	生物統計学	1・2③		1			○			1						兼1
		分子細胞生物学	1・2③		1			○									兼3
		ゲノム科学	1・2④		1			○									兼7
		生体材料科学	1・2①		1			○									兼6
		硬組織疾患特論	1・2②		1			○									兼8
		医薬品化学	1・2②		1			○									兼6
		生体分子解析学	1・2④		1			○									兼3
		腫瘍診断治療学	1・2④		1			○									兼8
		移植・再生医療学特論	1・2①		1			○			1						兼7
		看護・リハビリテーション科学特論	1・2①		1			○									兼6
		包括的腫瘍学特論(基礎編)	1・2②		1			○			1						兼6
		包括的腫瘍学特論(臨床編)	1・2④		1			○									兼7
		神経科学特論	1・2②		1			○									兼1
		先端医療科学特論(基礎編)	1・2通		1			○									兼1
先端医療科学特論(臨床編)		1・2通		1			○									兼1	
先端新興感染症病態制御学特論		1・2通		1			○									兼1	
先端放射線医療科学特論		1・2通		1			○			1						兼5	
先端臨床試験特論		1・2②		1			○									兼5	
小計 (18科目)	—	0	18	0	—				2	0	0	0	0		兼70		
生命医療科学実習	先端機器実習	1・2②		1												兼1	
小計 (1科目)	—	0	1	0	—				0	0	0	0	0		兼1		
がんプロフェッショナル養成コース	集学的がん治療学特論Ⅰ(総論)	1・2前		1			○									兼1	
	集学的がん治療学特論Ⅱ(がんゲノム医療)	1・2後		1			○									兼1	
	集学的がん治療学特論Ⅲ(小児・AYA・希少がん)	1・2前		1			○									兼1	
	集学的がん治療学特論Ⅳ(ライフステージに応じたがん医療)	1・2後		1			○									兼1	
	集学的がん治療学実習	1・2通		2												兼3	
	在宅・地域医療実習	1・2通		1												兼2	
	離島・僻地病院実習	1・2通		2												兼2	
	小計 (7科目)	—	0	9	0	—				0	0	0	0	0		兼4	
がんゲノム医療専門薬剤師養成コース	がん専門薬剤師養成実習A	1・2通		8												兼1	
がん専門薬剤師養成コース	がん専門薬剤師養成実習B	1・2通		8												兼1	
小計 (2科目)	—	0	16	0	—				0	0	0	0	0		兼2		
放射線医療科学専攻	研究支援科目	肉眼解剖学演習	1・2④		2			○								兼5	
		組織細胞生物学演習	1・2④		2			○								兼3	
		顎顔面解剖学演習	1・2④		2			○								兼2	
		細胞生物学演習	1・2④		2			○								兼1	
		内臓機能生理学演習	1・2④		2			○								兼2	
		生化学演習	1・2④		2			○								兼3	
		腫瘍医学演習	1・2④		2			○								兼3	
		臨床疫学演習	1・2④		2			○								兼1	
		分子標的医学演習	1・2④		2			○								兼5	
		加齢口腔生理学演習	1・2④		2			○								兼2	
		医科薬理学演習	1・2④		2			○								兼4	
		歯科薬理学演習	1・2④		2			○								兼3	
		病理診断科学演習	1・2④		2			○								兼1	
		基礎病理学演習	1・2④		2			○								兼4	
		口腔病理学演習	1・2④		2			○								兼2	
		生体材料学演習	1・2④		2			○								兼1	
		分子硬組織生物学演習	1・2④		2			○								兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
放射線医療科学専攻	研究支援科目	法医学演習	1・2④		2			○								兼2
		歯科法医学演習	1・2④		2			○								兼1
		フロンティア口腔科学演習	1・2④		2				○							兼1
		口腔保健学演習	1・2④		2				○							兼2
		眼科・視覚科学演習	1・2④		2				○							兼2
		耳鼻咽喉・頭頸部外科学演習	1・2④		2				○							兼2
		脳神経外科学演習	1・2④		2				○							兼2
		麻酔集中治療医学演習	1・2④		2				○							兼2
		心臓血管外科学演習	1・2④		2				○							兼1
		泌尿器科学演習	1・2④		2				○							兼3
		腫瘍外科学演習	1・2④		2				○							兼3
		移植・消化器外科学演習	1・2④		2				○							兼4
		産科婦人科学演習	1・2④		2				○							兼1
		整形外科演習	1・2④		2				○							兼3
		形成再建外科学演習	1・2④		2				○							兼1
		精神神経科学演習	1・2④		2				○							兼1
		皮膚病態学演習	1・2④		2				○							兼3
		循環器内科学演習	1・2④		2				○							兼3
		消化器内科学演習	1・2④		2				○							兼1
		呼吸器内科学演習	1・2④		2				○							兼4
		病態解析・診断学演習	1・2④		2				○							兼4
		小児科学演習	1・2④		2				○							兼3
		放射線診断治療学演習	1・2④		2				○							兼2
		臨床腫瘍学演習	1・2④		2				○							兼4
		歯科麻酔学演習	1・2④		2				○							兼2
		歯科矯正学演習	1・2④		2				○							兼1
		小児歯科学演習	1・2④		2				○							兼1
		歯周歯内治療学演習	1・2④		2				○							兼1
		口腔インプラント学演習	1・2④		2				○							兼2
		歯科補綴学演習	1・2④		2				○							兼1
		口腔腫瘍治療学演習	1・2④		2				○							兼1
		顎口腔再生外科学演習	1・2④		2				○							兼4
		口腔診断・情報科学演習	1・2④		2				○							兼2
		看護学演習	1・2④		2				○							兼5
		理学療法学演習	1・2④		2				○							兼4
		作業療法学演習	1・2④		2				○							兼2
		保健科学演習	1・2④		2				○							兼4
		先端臨床薬学特論	1・2④		1			○								兼2
		先端薬物治療学特論	1・2④		1			○								兼1
		薬物治療学演習	1・2④		2				○							兼1
		医薬品情報学演習	1・2④		2				○							兼2
		薬剤学演習	1・2④		2				○							兼2
		実践薬学演習	1・2④		2				○							兼2
		比較動物医学演習	1・2④		2				○							兼1
		ゲノム機能解析学演習	1・2④		2				○							兼1
		予防医学演習	1・2④		2				○							兼1
		先端創薬学演習	1・2④		2				○							兼1
		地域保健・福祉連携学演習	1・2④		2				○							兼1
		内分泌・代謝内科学演習	1・2④		2				○							兼1
		脳神経内科学演習	1・2④		2				○							兼1
腎臓内科学演習	1・2④		2				○							兼3		
臨床薬物動態学演習	1・2④		2				○							兼1		
救命救急医療学演習	1・2④		2				○							兼1		
脳神経病態学演習	1・2④		2				○							兼1		
神経免疫学演習	1・2④		2				○							兼1		
地域包括ケア学演習	1・2④		2				○							兼1		
包括的腫瘍学演習	1・2④		2				○							兼1		
免疫学演習	1・2④		2				○							兼2		
感染分子解析学演習	1・2④		2				○							兼2		

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
放射線医療科学系専攻	研究支援科目	臨床感染症学演習		2			○									兼3
		口腔病原微生物学演習	1・2④	2			○									兼1
		臨床微生物学特論	1・2③	1			○									兼1
		感染症学特論	1・2③	1				○								兼1
		臨床感染症学実習	1・2③	2				○								兼3
		感染制御学実習	1・2②	1				○								兼5
		短期海外臨床研修	3・4②	1				○								兼3
		熱帯ウイルス病学演習	1・2④	2				○								兼1
		病原細菌学演習	1・2④	2				○								兼3
		病原原虫学演習	1・2④	2				○								兼2
		熱帯寄生虫学演習	1・2④	2				○								兼2
		免疫遺伝学演習	1・2④	2				○								兼1
		感染病理学演習	1・2④	2				○								兼1
		熱帯医学情報学演習	1・2④	2				○								兼2
		国際保健学演習	1・2④	2				○								兼2
		病害動物学演習	1・2④	2				○								兼1
		臨床熱帯医学演習	1・2④	2				○								兼1
		熱帯小児感染症学演習	1・2④	2				○								兼1
		臨床開発学演習	1・2④	2				○								兼1
		熱帯細菌学演習	1・2④	2				○								兼1
		熱帯微生物学演習	1・2④	2				○								兼1
		新興ウイルス感染症学演習	1・2④	2				○								兼3
		ウイルス感染制御学演習	1・2④	2				○								兼1
		ウイルス生態学演習	1・2④	2				○								兼1
		臓器統合制御学演習	1・2④	2				○								兼1
		医療政策学演習	1・2④	2				○								兼1
		ウイルス肝炎治療学演習	1・2④	2				○								兼1
		先端医療学演習	1・2④	2				○								兼2
		分子免疫学演習	1・2④	2				○								兼1
		機能形態学演習	1・2④	2				○								兼1
		臨床病理学演習	1・2④	2				○								兼1
		基礎抗酸菌症学演習	1・2④	2				○								兼2
		臨床抗酸菌症学演習	1・2④	2				○								兼3
		放射線災害医療学演習	1・2④	2				○			1	1				兼1
		放射線分子疫学演習	1・2④	2				○			1					
		放射線生物・防護学演習	1・2④	2				○			1					
		放射線・環境健康影響学演習	1・2④	2				○			1					
		ゲノム機能修復学演習	1・2④	2				○			1					
		幹細胞生物学演習	1・2④	2				○			1				1	
		血液内科学演習	1・2④	2				○			1	1				
		アイソトープ診断治療学演習	1・2④	2				○			1					
		国際ヒバクシャ医療学演習	1・2④	2				○								兼1
		神経機能学演習	1・2④	2				○								兼4
		公衆衛生学演習	1・2④	2				○								兼2
		医療情報学演習	1・2④	2				○								兼1
地域医療学演習	1・2④	2				○								兼2		
リウマチ・膠原病内科学演習	1・2④	2				○								兼6		
総合診療学演習	1・2④	2				○								兼3		
国際保健医療福祉学演習	1・2④	2				○								兼1		
人類遺伝学演習	1・2④	2				○								兼2		
分子医学演習	1・2④	2				○								兼1		
腫瘍・診断病理学演習	1・2④	2				○								兼1		
研究支援科目	課題研究	課題研究Ⅰ（放射線医療科学）	1・2①	2			○		6	2			2		兼2	
		課題研究Ⅱ（放射線医療科学）	1・2③	2			○		6	2			2		兼2	
実習科目	特別実習Ⅰ（放射線医療科学）	特別実習Ⅰ（放射線医療科学）	2・3②	2			○		6	2			2			
		特別実習Ⅱ（放射線医療科学）	2・3④	2			○		6	2			2			
論文研究	論文研究Ⅰ（放射線医療科学）	論文研究Ⅰ（放射線医療科学）	3・4①	4			○		6	2			2		兼2	
		論文研究Ⅱ（放射線医療科学）	3・4③	4			○		6	2			2		兼2	
小計（134科目）		—	16	250	0	—			6	2	0	2	0	兼184		
合計（166科目）			—	18	297	0	—		6	2	0	2	0	兼213		
学位又は称号		博士（学術），博士（医学），博士（歯学），博士（薬学）		学位又は学科の分野			医学関係，歯学関係，薬学関係									

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 放射線医療科学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
4年以上在学し、以下に記載する最低修得単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。放射線医療科学専攻及び各コースの必要単位は、以下のとおりである。						1学年の学期区分			2期（4クォータ）※					
						1学期の授業期間			15週（7.5週）※					
						1時限の授業時間			90分					
<p>○放射線医療科学専攻（コースに所属しない場合） （共通科目） 合計8単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 2単位以上 3.生命医療科学特論，生命医療科学実習 4単位以上 （研究支援科目） 合計14単位以上 1.必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（放射線医療科学）」，「課題研究Ⅱ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅰ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅱ（放射線医療科学）」） 2.選択科目 6単位以上 ※研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8単位</p> <p>○がんゲノム医療専門医師・歯科医師養成コース （共通科目） 合計4単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 1単位以上 3.生命医療科学特論 1単位（「腫瘍学特論（基礎編）」） （コース科目） 6単位（「集学的がん治療学特論Ⅰ（総論）」，「集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療）」，「集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん）」，「集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療）」，「集学的がん治療学実習」） （研究支援科目） 合計14単位以上 1.必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（放射線医療科学）」，「課題研究Ⅱ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅰ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅱ（放射線医療科学）」） 2.選択科目 6単位以上 ※研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8単位</p> <p>○包括的がん専門医師・歯科医師養成コース （共通科目） 合計4単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 1単位以上 3.生命医療科学特論 1単位（「腫瘍学特論（臨床編）」） （コース科目） 合計6単位以上 1.選択科目 4単位以上（「集学的がん治療学特論Ⅰ（総論）」，「集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療）」，「集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん）」，「集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療）」，「在宅・地域医療実習」，「離島・僻地病院実習」） ※「在宅・地域医療実習」及び「離島・僻地病院実習」を1単位以上履修する。 2.選択必修科目 2単位（「集学的がん治療学実習」） （研究支援科目） 合計14単位以上 1.必修科目 8単位（「課題研究Ⅰ（放射線医療科学）」，「課題研究Ⅱ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅰ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅱ（放射線医療科学）」） 2.選択科目 6単位以上 ※研究科が開設するすべての授業科目から、科目区分欄ごとの最低修得単位数を超えて修得した単位をもって充てることができる。 （論文研究） 8単位</p> <p>○がんゲノム医療専門薬剤師養成コース及び包括的がん専門薬剤師養成コース （共通科目） 合計4単位以上 1.生命医療科学セミナー 2単位 2.生命医療科学概論 1単位以上 3.生命医療科学特論 1単位 ※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論（基礎編）」を履修し、包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「腫瘍学特論（臨床編）」を履修する。 （コース科目） 合計12単位以上 1.選択科目 2単位以上（「集学的がん治療学特論Ⅰ（総論）」，「集学的がん治療学特論Ⅱ（がんゲノム医療）」，「集学的がん治療学特論Ⅲ（小児・AYA・希少がん）」，「集学的がん治療学特論Ⅳ（ライフステージに応じたがん医療）」） 2.選択必修科目 10単位（「集学的がん治療学実習」，「がん専門薬剤師養成実習A」，「がん専門薬剤師養成実習B」） ※がんゲノム医療専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習A」を履修し、包括的がん専門薬剤師養成コースの学生は「がん専門薬剤師養成実習B」を履修する。 （研究支援科目） 8単位（「課題研究Ⅰ（放射線医療科学）」，「課題研究Ⅱ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅰ（放射線医療科学）」，「特別実習Ⅱ（放射線医療科学）」） （論文研究） 8単位</p>														
<p>※本学では、2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は、前期及び後期の2期に分け、前期を4月1日から9月30日まで、後期を10月1日から翌年3月31日までとし、前期の前半を第1クォータ、後半を第2クォータ、後期の前半を第3クォータ、後半を第4クォータとしている。</p>														

教育課程等の概要																		
【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻（博士課程）																		
科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数		授業形態				専任教員等の配置					備考			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
医科学基礎	医学基礎	1前・1後	各大学		2		○			1								
	小計（1科目）	—	—	0	2	0	—			1	0	0	0	0				
基盤予防医学	医療統計学・疫学	1前	各大学		1		○			1	1							
	環境と遺伝	1前	各大学		1		○			1								
	生命倫理	1前・1後	各大学		1		○								兼2			
	小計（3科目）	—	—	0	3	0	—			2	1	0	0	0	兼2			
先進予防医学に関する科目	オミクス解析領域	オミクス解析	1後	金沢大学	1		○			1						兼1		
		分子腫瘍医科学	1・2後	金沢大学	1		○			1								
		分子薬剤応答学	2前	金沢大学	1		○			1								
		栄養代謝学	1・2後	金沢大学	1		○			1								
		臨床遺伝学	1・2後	長崎大学	1		○			1	1							
	情報医工学領域	情報医工学	1後	長崎大学	1		○			1	1						兼1	
		バイオインフォマティクス	1・2後	金沢大学	1		○			1								
		探索イメージング学	2前	金沢大学	1		○			1								
		レギュラトリーサイエンス	1・2後	千葉大学	1		○			1								
		医療情報管理学	1・2後	千葉大学	1		○			1								
	マクロ環境領域	メディカルロボティクス	2前	長崎大学	1		○			1								兼1
		マクロ環境	1後	千葉大学	1		○			1								
		医療政策・マネジメント	1・2後	千葉大学	1		○			1								
		サステイナブル環境健康科学	2前	千葉大学	1		○			1								
		社会疫学	2前	千葉大学	1		○			1								
		行動・精神衛生	2後	長崎大学	1		○			1	1							
		放射線健康影響概論	1・2後	長崎大学	1		○			4								
		地域医療論	2前	長崎大学	1		○			2	1							
小計（18科目）	—	—	3	15	0	—			17	3	0	0	0	兼3				
国内・海外フィールド実習に関する科目	ゲノム実習（金沢）	3・4通	金沢大学	1				○	1						兼2			
	過疎地コホート実習	3・4通	金沢大学	1				○	1									
	地域医療実習（金沢）	3・4通	金沢大学	1				○	1									
	HIV/AIDS研究フィールドワーク実習	3・4通	金沢大学	1				○		1								
	ウイルス感染症研究フィールドワーク実習	3・4通	金沢大学	1				○		1								
	寄生虫感染症研究フィールドワーク実習	3・4通	金沢大学	1				○		1								
	グローバルヘルス実習	3・4通	金沢大学	1				○		1								
	ゲノム実習（千葉）	3・4通	千葉大学	1				○	1									
	ヘルシーシティーズ・都市部コホート実習	3・4通	千葉大学	1				○	1									
	医療機関情報実習（千葉）	3・4通	千葉大学	1				○	1									
	グローバルヘルス環境医学実習	3・4通	千葉大学	1				○	1									
	ゲノム実習（長崎）	3・4通	長崎大学	1				○	1									
	離島コホート実習	3・4通	長崎大学	1				○	1									
	原爆被爆者健康診断学実習	3・4通	長崎大学	1				○	1									
放射線臨床疫学実習	3・4通	長崎大学	1				○	1										
海外母子コホート実習	3・4通	長崎大学	1				○	1										
小計（16科目）	—	—	0	16	0	—			11	2	0	0	0	兼2				
研究支援科目	課題研究	2通	各大学	1				○	9	5	3	3			兼3			
	研究実践レポート（金沢）	2通	金沢大学		1			○	12	7		3						
	研究実践レポート（千葉）	2通	千葉大学		1			○	8	3	2	7						
	研究実践レポート（長崎）	2通	長崎大学		1			○	9	5	3	3						
	特別研究Ⅰ	3・4通	各大学	3				○	9	5	3	3						
	研究デベロップメントⅠ（金沢）	3・4通	金沢大学		2			○	12	7		3						
	研究デベロップメントⅠ（千葉）	3・4通	千葉大学		2			○	8	3	2	7						
	研究デベロップメントⅠ（長崎）	3・4通	長崎大学		2			○	9	5	3	3						
	特別研究Ⅱ	3・4通	各大学	5				○	9	5	3	3						
	研究デベロップメントⅡ（金沢）	3・4通	金沢大学		5			○	12	7		3						
	研究デベロップメントⅡ（千葉）	3・4通	千葉大学		5			○	8	3	2	7						
	研究デベロップメントⅡ（長崎）	3・4通	長崎大学		5			○	9	5	3	3						
小計（12科目）	—	—	9	24	0	—			29	15	5	13	0	兼3				
合計（50科目）		—	—	12	60	0	—			29	15	5	13	0	兼12			
学位又は称号	博士（医学）			学位又は学科の分野				医学関係										

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 医歯薬学総合研究科 先進予防医学共同専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
4年以上在学し、以下に記載する最低修得単位数を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。先進予防医学共同専攻の必要単位は、以下のとおりである。							1学年の学期区分				2期（4クォータ）※				
							1学期の授業期間				15週（7.5週）※				
							1時限の授業時間				90分				
<p>予防医学基盤科目 必修科目 3単位 先進予防医学に関する科目 必修科目 3単位 選択必修科目 3単位以上 国内・海外フィールド実習に関する科目 選択必修科目 1単位以上 研究支援科目 必修科目 9単位 選択必修科目 16単位 合計</p> <p>備考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各科目区分から上記の単位を修得するとともに、それぞれの構成大学院において当該共同教育課程に係る授業科目の履修により10単位以上修得すること。 2 予防医学基盤科目は、原則として、研究科で修得すること。 3 先進予防医学に関する科目のうち、「選択必修科目」については、それぞれの構成大学院から1単位以上修得すること。 4 研究支援科目において、「課題研究」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究実践レポート」（各1単位）をそれぞれ修得すること。 5 研究支援科目において、「特別研究Ⅰ」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究デベロップメントⅠ」（各2単位）をそれぞれ修得すること。 6 研究支援科目において、「特別研究Ⅱ」を履修した大学院以外の構成大学院が開設する「研究デベロップメントⅡ」（各5単位）をそれぞれ修得すること。 <p>※本学では、2学期制とクォータ制を併用している。学生の学期区分は、前期及び後期の2期に分け、前期を4月1日から9月30日まで、後期を10月1日から翌年3月31日までとし、前期の前半を第1クォータ、後半を第2クォータ、後期の前半を第3クォータ、後半を第4クォータとしている。</p>															

教 育 課 程 等 の 概 要

【既設研究科】 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 グローバルヘルス専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
演習科目	グローバルヘルス研究演習	1通	4				○		12	9		10		
	小計（1科目）	—	4	0	0	—			12	9	0	10	0	
特別研究	グローバルヘルス特別研究	2～3通	12				○		12	9		10		
	小計（1科目）	—	12	0	0	—			12	9	0	10	0	
合計（2科目）		—	16	0	0	—			12	9	0	10	0	
学位又は称号	博士（グローバルヘルス）	学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）									
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
博士（グローバルヘルス）の学位授与に値する教育を3年，あるいは，それ以上の期間受け，修了要件である16単位以上を取得し，博士論文を作成し，最終審査に合格することによって本コースを修了する。 総単位数 16単位						1学年の学期区分			4期					
						1学期の授業期間			10週					
						1時限の授業時間			90分					

教育課程等の概要（国際連携学科等）

【既設研究科】 熱帯医学・グローバルヘルス研究科 長崎大学ーロンドン大学衛生・熱帯医学大学院国際連携グローバルヘルス専攻（博士後期課程）

科目区分	授業科目の名称	共同開設科目	配当年次	開設大学	単位数			授業形態			教員等の配置											備考		
					必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	申請大学					連携外国大学					小計		合計	
											教授	准教授	講師	助教	助手	小計	教授に相当する教員	准教授に相当する教員	講師に相当する教員	助教に相当する教員				助手に相当する教員
(研究指導)		-	1~3通	長崎大学 ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院	-	-	-	-	-	-	12	9		10		31	18			1		19	50	
合計（一科目）		-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	9	0	10	0	31	18	0	0	1	0	19	50	
学位又は称号	博士（グローバルヘルス）(Doctor of Philosophy)			学位又は学科の分野	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く）																			
卒業要件及び履修方法				開設大学等	開設単位数（必修）		授業期間等																	
標準修業年限以上在学し、必要な研究指導を受け、最終年次の研究報告会において口頭発表を行い、博士論文の審査に合格することを修了要件とする。	長崎大学			-		1学年の学期区分					-													
	ロンドン大学衛生・熱帯医学大学院			-		1学期の授業期間					-													
						1時限の授業時間					-													

授 業 科 目 の 概 要					
(ブラネタリーヘルス学環)					
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考		
専門科目	ブラネタリーヘルス	<p>（講義科目） 人類の健康と地球環境は密接に関わっており、人類の活動がどのように地球環境を変化させ、その環境変化がどのように人の健康に影響しているかを理解することがますます重要になっている。本科目では、健康を人類のみならず地球全体で捉えたブラネタリーヘルスによる包括的なアプローチの基本概念を習得するとともに、その保健政策・プログラムへの運用を探索する。本科目を通し、学生はブラネタリーヘルスに関する学際的な理解力と考察力を習得し、持続的な健康ならびに開発を可能とするマルチセクタープログラム案件の策定に向けた素地を養う。</p> <p>（オムニバス方式／全22回） （5 渡辺 知保／2回） ブラネタリーヘルス概要、まとめ</p> <p>（49 CHRIS NG FOOK SHENG／1回） 人の健康と環境要因、大気汚染</p> <p>（10 皆川 昇／1回） 気候変動と感染症</p> <p>（38 昔 宣希／1回） 気候変動に対する経済学的アプローチ</p> <p>（44 橋爪 真弘／1回） 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）</p> <p>（31 小松 悟／1回） 社会経済格差と気候変動</p> <p>（18 大嶺 聖／1回） 地球環境問題とリサイクル</p> <p>（19 阪倉 良孝・21 持田 恵一／1回） 食料問題</p> <p>（35 藤岡 貴浩／1回） 水質と水の欠乏</p> <p>（36 西川 貴文・37 佐々木 謙二／1回） 都市化と環境、健康</p> <p>（11 山本 太郎／1回） 自然災害リスク管理</p>	<p>（14 門司 和彦／1回） 健康の社会的決定要因（SDH）</p> <p>（28 成田 真紀子／1回） 国家間の社会経済的格差</p> <p>（15 滝澤 克彦／1回） 宗教と健康</p> <p>（29 河村 有教／1回） 倫理規範、法規制とジェンダー</p> <p>（30 GUELBEYAZ ABDURRAHMAN／1回） 紛争、民族問題（記号論）</p> <p>（32 COMPEL RADOMIR／1回） 紛争研究（政治学）</p> <p>（33 細田 尚美／1回） 移民・難民（文化人類学）</p> <p>（12 高村 昇・13 松田 尚樹／1回） 放射線リスク管理</p> <p>（22 吉田 文彦／1回） 核兵器と核軍縮</p> <p>（17 深浦 厚之／1回） 官民協調</p>	オムニバス	
	政策とシステム	政策過程特論	<p>（講義科目） グローバルヘルス領域のリーダーとして保健政策の立案に効果的に関与するには、政策過程・サイクルについての深い洞察力を有し、政策変化が起きる理由を説明できなければならない。本科目では、公共政策学の知見や主要理論を応用し、保健政策が作られるプロセスや、そのプロセスに影響を与える要因を理解することを目指す。同時に、事例研究が拠って立つ因果推論の方法論についても理解を深め、政策研究が蓄積してきた科学的知見をより深く理解するための能力を向上させる。</p> <p>（27 MARCO LIVERRANI／8回）</p>		
	政策とシステム	実装科学特論	<p>（講義科目） グローバルヘルス領域のリーダーとして、保健政策の実施に効果的に関与するには、政策サイクルのうち実装（implementation）に関わる主要概念や問題点、その解決法を理解している必要がある。本科目では、近年、「実装科学」として成立しつつある学問分野に立脚し、保健システムの複雑性、政治経済等との相互関連性、文脈依存性を理解した上で、保健政策の実装化を検証する能力を涵養する。具体的には、政策と実施の乖離を検証し、その対応策を立案、実施する能力、政策実践を取り巻く文脈性の理解に基づき政策実践プロセスを検証する知識とスキル、問題解決の刷新的アプローチを考案、実施、評価する知識・スキルを習得する。</p> <p>（オムニバス方式／全11回） （3 神谷 保彦 / 5回） 実装科学総論、政策-実施乖離の検証と解決、公衆衛生における実装科学、保健医療サービスの実装科学、オペレーションリサーチ</p> <p>（47 JUDD WALSON／4回） グローバルヘルスにおける普及科学、Precision Public Health、ソーシャルマーケティングによる介入、感染症対策の実装科学</p> <p>（40 佐藤 美穂 / 2回） ジェンダーヘルスのための実施科学、実装科学における質的調査</p>		オムニバス
政策とシステム	保健システム特論	<p>（講義科目） 保健システムとは、人々の健康を改善するための活動を生み出すすべての組織、制度、資源と定義される。保健政策が期待される成果を上げるには、効率的かつ適応性の高い保健システムの存在が不可欠である。グローバルヘルスのリーダーとして、保健政策を成功に導くには、保健システムが抱える問題を特定し、解決できる能力が不可欠である。本科目では、保健システムの問題点を分析し、システム改善のためのオプションを理解し、実現可能な提案を導く能力を習得する。</p> <p>（オムニバス方式／全10回） （39 吉岡 浩太／8回） 保健システムのフレームワーク</p> <p>（4 相賀 裕嗣／2回） 保健システム改善の事例</p>		オムニバス	

授 業 科 目 の 概 要			
(プラネタリーヘルス学環)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	データと分析	<p>(講義科目)</p> <p>科学的エビデンスに基づいた政策決定を促すには、エビデンスの創出に使われるデータや分析法について一定の理解をしておく必要がある。本科目では、集団レベルの健康課題を発見し、政策案のアセスメントや比較、既存政策の評価に使われる数理的な手法を概観する。具体的には、メタ解析、ビッグデータ解析、医療技術評価、モデリング、介入研究効果予測といった分析アプローチを取り上げ、それぞれのアプローチにおいて、どのようにデータが収集、分析され、政策立案に活かされているかについて、グローバルヘルス分野のリーダーとして必要な素養を身につける。</p> <p>(オムニバス方式/全10回)</p> <p>(26 NGUYEN HUY TIEN / 2回) システマティックレビュー、メタ解析</p> <p>(20 植木 優夫 / 2回) ビッグデータ解析</p> <p>(41 XERXES SEPOS0 TESORO/ 2回) 医療技術評価、費用効果分析</p> <p>(43 JOHN EDMUNDS / 2回) モデリング、介入効果予測</p> <p>(16 丸山 幸宏 / 2回) 包絡線分析</p>	オムニバス
	組織マネジメント特論	<p>(講義科目)</p> <p>組織のマネジメント及び戦略策定に関わる知識・技術・スキルを習得する。本講義では、公的組織および民間企業のマネジメントを扱う。公的組織のマネジメントでは、政府系機関でリーダーとして働くのに求められる、公共財政、資源動員と配置、プログラム・プロジェクトマネジメントなどに関する知識やスキルを学ぶ。民間企業のマネジメントでは、企業の競争戦略の作り方、イノベーション、アントレプレナーシップ、ベンチャーファイナンスなどを取り上げる。</p> <p>(オムニバス方式/全8回)</p> <p>(45 山下 淳司/ 4回)</p> <p>企業の競争戦略、イノベーション、アントレプレナーシップ、ベンチャーファイナンス</p> <p>(25 松井 三明/ 4回)</p> <p>プログラム・プロジェクトマネジメント、公共・医療財政管理、資源動員と配置</p>	オムニバス
	リーダーシップとマネジメント	<p>(講義科目)</p> <p>グローバルヘルス分野のリーダーとして成果を上げるには、自らのアイデアや要求を他者に伝え、説得する能力が欠かせない。本科目では、組織や事業の渉外に関わる知識・技術・スキルを習得する。交渉の基本理論と国際交渉や組織間交渉等の事例を学んだのち、コミュニケーションスキル (writingおよびspeaking) を向上させるため、政策文書の作成法およびパブリックコミュニケーションについて理解を深め、実践で活用できるスキルやノウハウを培う。</p> <p>(オムニバス方式/全10回)</p> <p>(24 上條 由紀子 / 9回) 交渉術、パブリックコミュニケーション、文書作成法 (政策提言)</p> <p>(34 MASON SHANNON LEE/ 1回) サイエンスコミュニケーション</p>	オムニバス
	グローバルヘルスガバナンス特論	<p>(講義科目)</p> <p>疾病対策・保健政策・保健システム・危機管理に関連する国際的な法的枠組み、国際指針、行動規範を知り、その策定における国家間の議論・合意形成・駆け引き等を進める上で必要なリーダーシップ・スキルについて理解を深める。世界保健総会等の国際場裏での外交術、国際パートナーシップ・民間基金・職能団体・市民団体との協働・協調・調整の実務能力を向上させ、多様な状況において適切で有効な政策を実施できる能力を獲得する。</p> <p>(オムニバス方式/全9回)</p> <p>(2 平山 謙二 / 6回) 危機管理、アウトブレイク、パンデミック、倫理規範、法規制・国際保健規則 (IHR)</p> <p>(1 北 潔 / 1回) 大学と企業との連携</p> <p>(42 國井 修 / 1回) 主要アクターとパートナーシップ</p> <p>(48 BT Slingsby / 1回) グローバルヘルスガバナンス</p>	オムニバス
実習科目	実務研修	<p>(実習科目)</p> <p>1年次の夏期調整期間を利用して、国際機関・政府機関・NGO・民間企業等で短期の実務研修を行う。公衆衛生を専門とするプロフェッショナルとして、派遣先機関が抱える課題のうち、短期間で解決法を示せる課題を学生自ら特定する。1年次の専門科目で身につけた内容を、課題解決に活かす。この実務研修では、限られた時間のなかで一定の成果を挙げることが要求される。この経験を通して、課題設定、調整・交渉、コミュニケーションに関するスキルを磨く。また、実務研修の経験が、2・3年次に実施する博士プロジェクトの派遣先やテーマ設定に活かされることが期待される。</p>	
演習科目	プロジェクト演習	<p>(演習科目)</p> <p>2年次の後半から3年次にかけて、国際機関・政府機関・NGO・民間企業等に所属し、長期フェローシップを実施する。公衆衛生を専門とするプロフェッショナルとして、派遣先機関の戦略計画策定等の業務に従事する。それを通して、調整・交渉能力、保健政策やプログラムの提案、実施能力を高める。プロジェクト開始に当たっては、専門科目の単単位を取得し、資格審査のための筆記試験および、プロジェクト提案書の口頭試験に合格し、長期フェローシップの着手に必要な能力を獲得していることを示す必要がある。プロジェクトを完遂させるには、フェローシップの経験をもとに、公衆衛生の政策と実践に焦点を当てた博士学位論文を執筆・発表し、審査に合格する必要がある。この博士学位論文は原著論文 (Original Research Article) としての性格を持つ必要はない。既存の科学的知見を活用・統合し、保健政策課題の特定や分析を通して解決策を提案し、また、解決策を実施する場合はそこから得られた教訓をまとめる文書となる。</p>	